

CADPACCREATOR3D

CADPAC
CREATOR 3D
Ver.20.0 リリースノート

株式会社 デザイン・クリエーション

目次 1

– 新機能 / 新メニュー

- JTファイル読み込みでメッシュをサポート 6
- 輪郭線フィルタとチェーンフィルタ 7
- CADENAS 3DfindIT 10

– 材質/ RGBカラーに関連する改良

- 面とそれに関連する材質/RGBカラー属性間のリンク 12
- [材質名を適用]オプション 13
- [新規材質作成]オプション 14
- 材質のプレビュー表示 15
- ブーリアン論理差で材質/RGBカラーを適用 16
- シート物体の材質/RGBカラーを転送 17
- トポロジーで取り出した面の材質/RGBカラーを保持 20

目次 2

– 選択に関連する改良

- [ダイナミック要素選択時のツールチップ](#) 21
- [最前面選択の改良](#) 22
- [合成要素解除時のソリッド選択](#) 23
- [親要素を優先的に選択](#) 24
- [材質設定時のウィンドウ及び全表示でソリッドを選択](#) 25
- [選択設定ツールバーを追加](#) 26

– 寸法/MBDの機能強化

- [ISOのはめあい公差を追加](#) 28
- [新しいJIS規格での仕上げ記号を追加](#) 30
- [幾何公差がASME Y14.5-2018規格更新](#) 31
- [幾何公差のデータム配置オプションを強化](#) 31
- [幾何公差:引出線オプションのすきま設定](#) 32
- [幾何公差の対称度に優先順位設定の複数データム表記](#) 33
- [公差記入モードリストに参考オプション追加](#) 34

目次 3

- 幾何公差にダイナミックプロファイルを追加 35
- 直径/半径寸法はモデル空間の円形面にも機能 36
- 弧長寸法に折れ線オプション追加 37
- 寸法と注釈の位置選択の強化 38
- 穴の自動ラベルの編集にフォーマットを追加 39
- 注記のフィールド変数の改良 40

– その他の改良

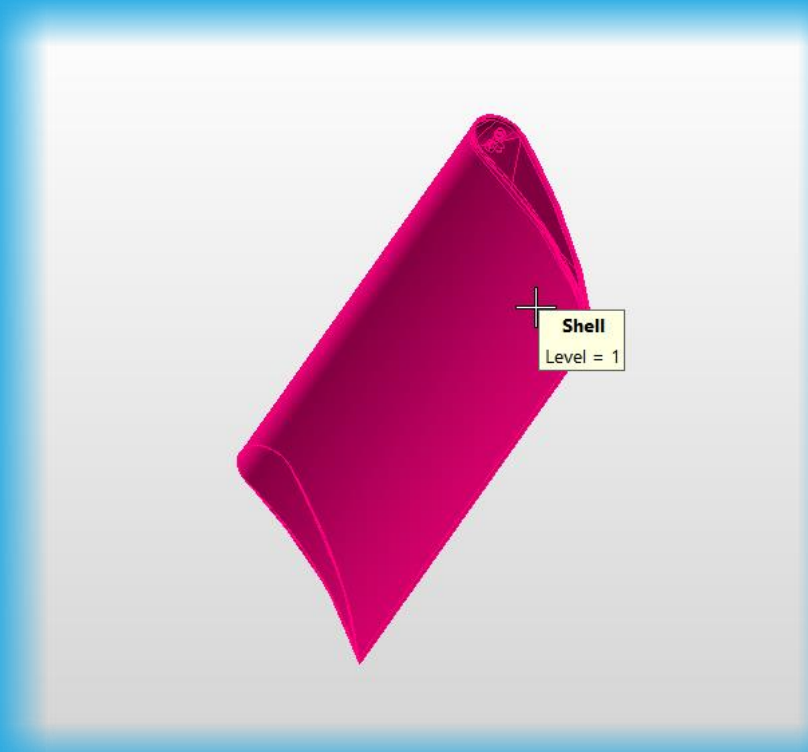
- スケッチの改良 41
- レイアウトでの事前選択の改良 45
- レイアウトの部分拡大図に属性ボタン追加 46
- 投影図のビューリストで連動表示ビューに【AG】表記 47
- ソリッドの汎用編集ダイアログボックスの改良 48
- 円弧選択時の作図面のZ方向 49
- 軽量パートリファレンスは自動的に書き出し 50
- ワッシャの基準位置変更 51

目次 4

• データ抽出:陰線破線/陰線消去のレンダリングオプション	52
• 合成要素の機能動作の改良	53
– ユーザーインターフェースの改良	
• 平面ビューの奥行き方向の矢印改善	54
• ダイアログボックスの列幅の変更	55
• 検証ビューとビューのシンクロナイズを削除	56
• グラフィックカードテストを削除	57
• ツールタイプテキストの単純化を削除	58
• Windows11に対応	59
– 外部変換	
• 外部変換対応バージョン表1	60
• 外部変換対応バージョン表2	61
• アセンブリ読み込み設定のデフォルト変更	62
• KCViewerでCADKEYファイルのサポートを終了	63

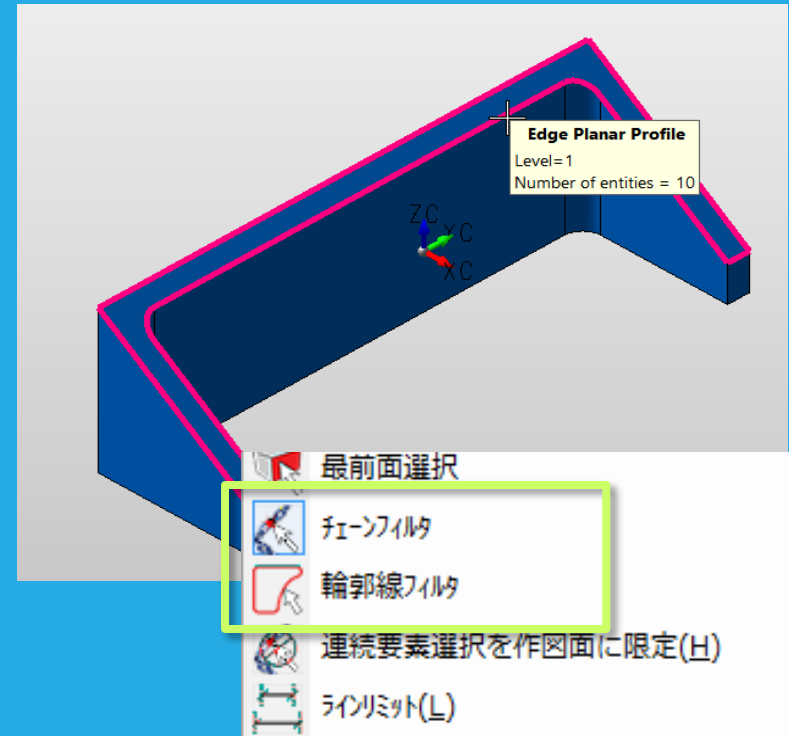
新機能 / 新メニュー

- JTファイルの読み込みで新たにメッシュがサポートされました
 - メッシュをシェル要素として読み込みます。



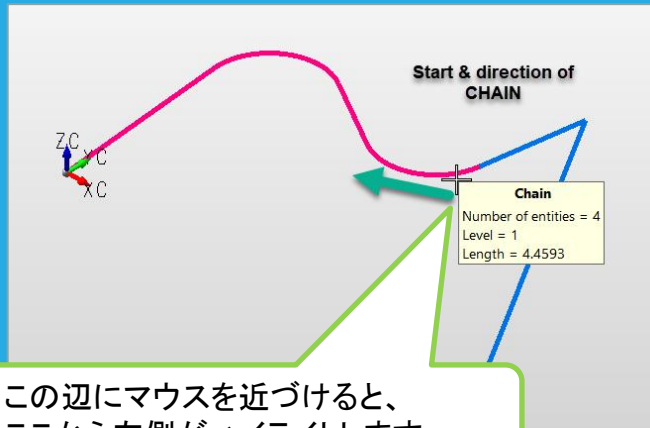
新機能 / 新メニュー

- 平面上の閉じた境界曲線をワンクリックで素早く選択できる
[輪郭線フィルタ]が追加され、[クイックチェーン]は[チェーンフィルタ]に改名しました
 - [輪郭線フィルタ]は、編集:システム設定に追加されました。デフォルトはオフです。押し出しやスweepタイプのコマンドに最適です。
 - 面やワイヤフレームの形状にカーソルを合わせると、閉じたプロファイル(連続線)が選択されます。
 - [輪郭線フィルタ]がオンの時でも[Shift]キーを押しながら閉じたプロファイルを指示すると、単一で選択できます。

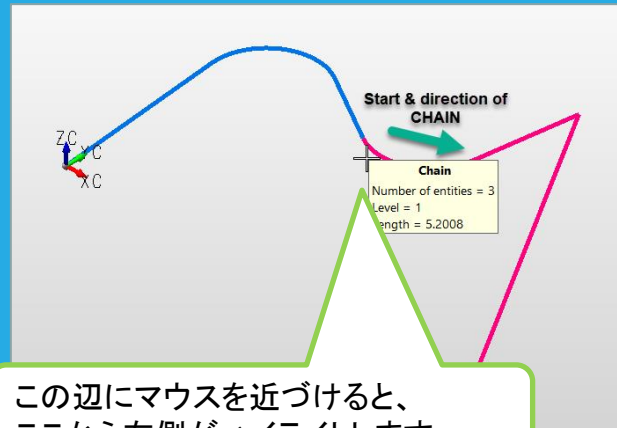


新機能 / 新メニュー

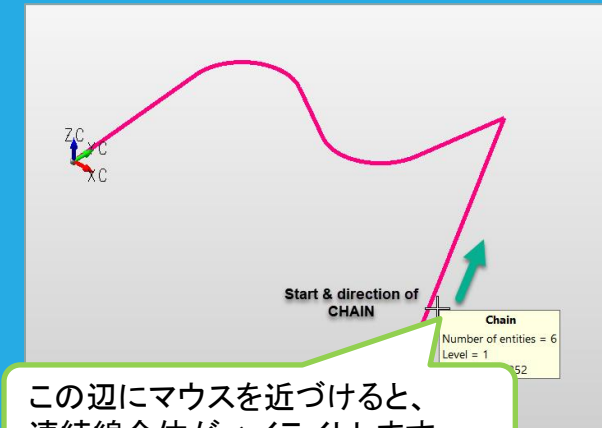
- 開いているプロファイル(連続線)の選択は[チェーンフィルタ]を使用してください。
- [チェーンフィルタ]は、以前のバージョンでは[クイックチェーン]でした。機能の変更はありませんがデフォルトでチェックオフになりました。
- [チェーンフィルタ]をオンにすると、開いたプロファイル(連続線)の選択が簡単にできます。要素を選択する際のカーソル位置によって、連続線の開始、方向、およびハイライトされる要素が変わります。



この辺にマウスを近づけると、
ここから左側がハイライトします



この辺にマウスを近づけると、
ここから右側がハイライトします



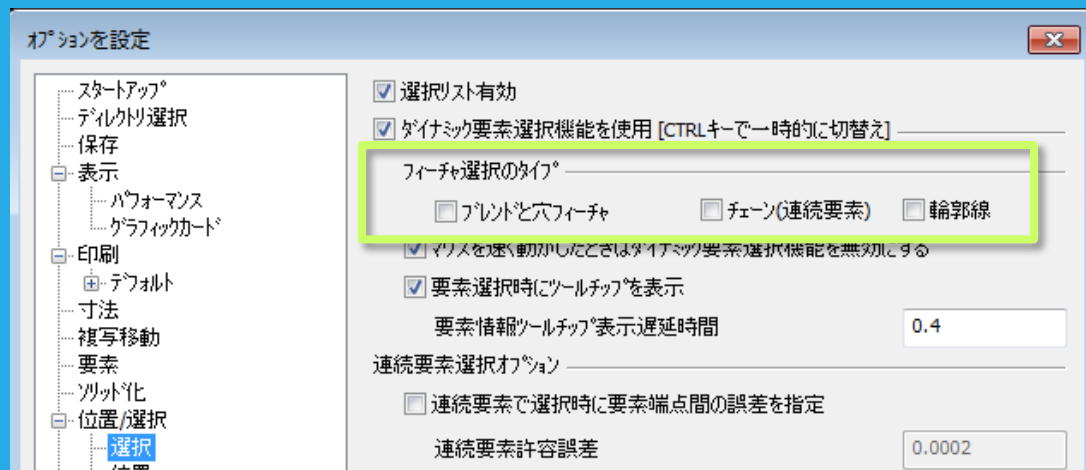
この辺にマウスを近づけると、
連続線全体がハイライトします

新機能 / 新メニュー

- 輪郭線フィルタの追加とチェーンフィルタへの名称変更に関連して、**ツール:オプション:位置/選択:選択タブ**のダイナミック要素選択の項目を整理して新たに**[フィーチャ選択のタイプ]**を追加しました。
このオプションのオン/オフは、**編集:システム設定**のそれぞれと連動しています。
 - [ブレンドと穴フィーチャ]は以前のバージョンでは[スマートフィーチャ選択を有効にする]でした。
 - [チェーン(連続要素)]は以前のバージョンでは[クイックチェーン選択を有効にする]でした。
名称を変更し、同時にデフォルトをチェックオフに変更しました。

- カーソルをフィーチャに近づけると、チェックしたブレンドと穴フィーチャ、チェーン(連続要素)または輪郭線を使用してフィーチャを選択します。

- 対象物が多くの機能を保有する場合、チェックオフのほうが便利です。



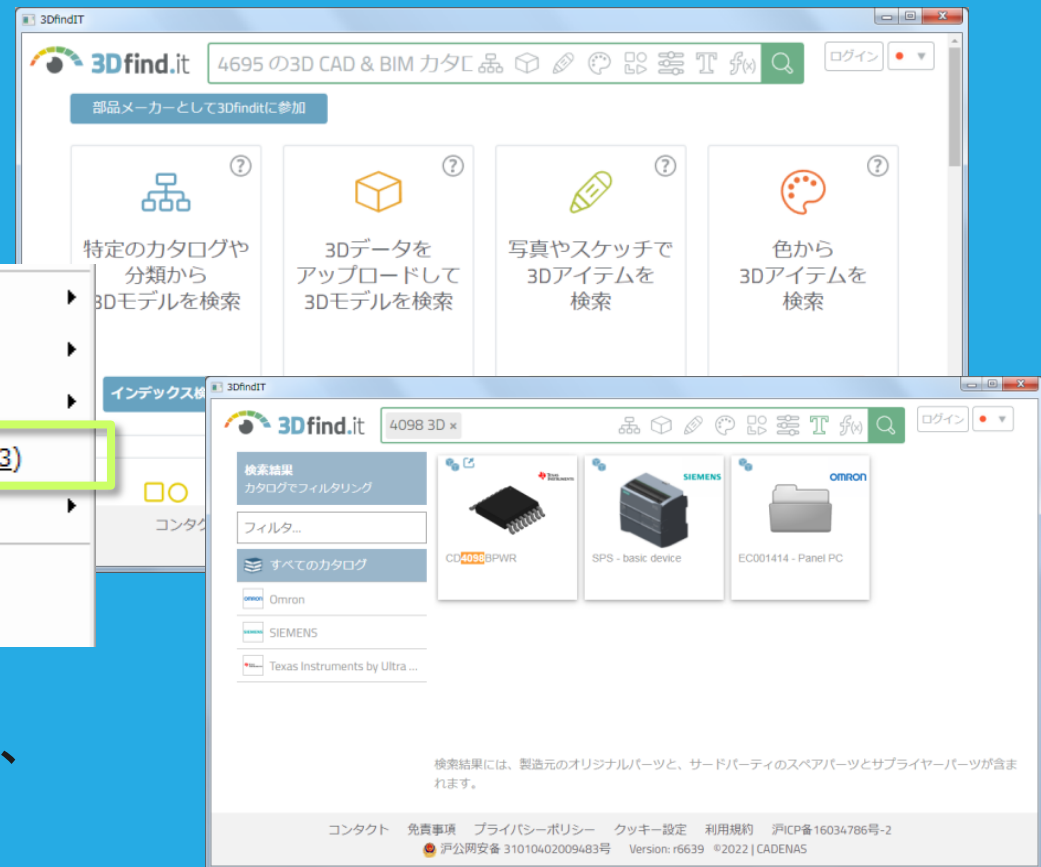
新機能 / 新メニュー

- ツールの新メニュー 3DfindIT 機能では、CADENAS産業用Webカタログから2D/3Dデータに直接アクセスできます

– 登録とログインが必要です。

– 以下で検索可能:

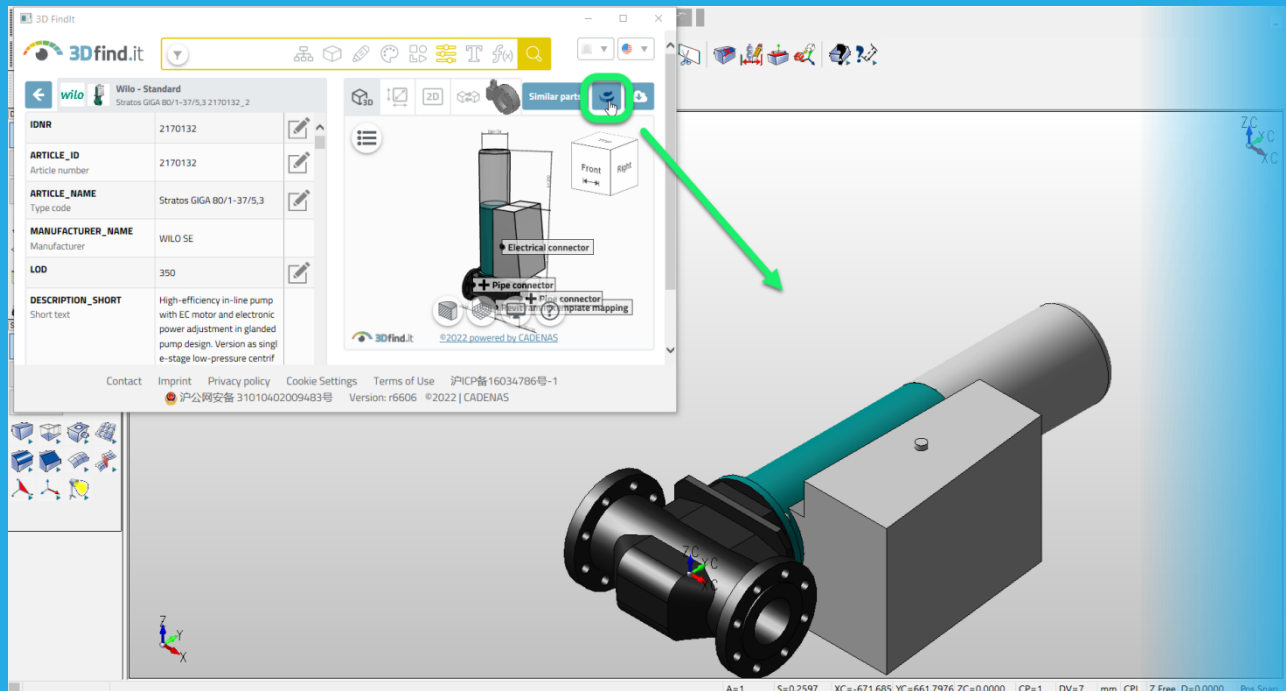
- カタログ
- 既存の3Dデータ
- 写真とスケッチ
- 絞り込み検索



* 本ソフト内から登録できない場合は、下記サイトから登録してください。
<https://www.3dfindit.com>

新機能 / 新メニュー

- KeyCreatorアイコンを選択して .ckdファイルに直接開くか、ファイルをダウンロードするか、またはサプライヤーのWebサイトにアクセスします。

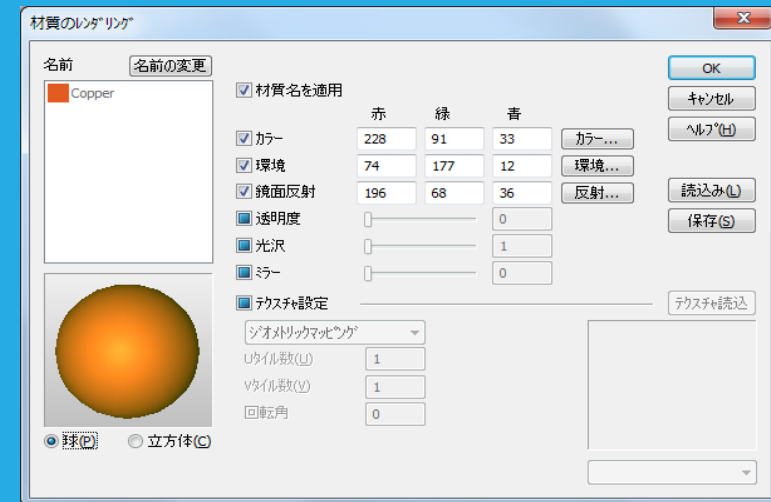
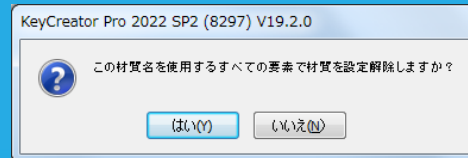
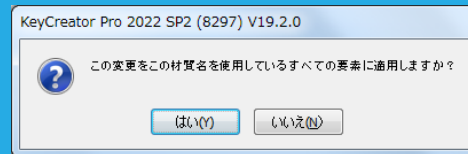
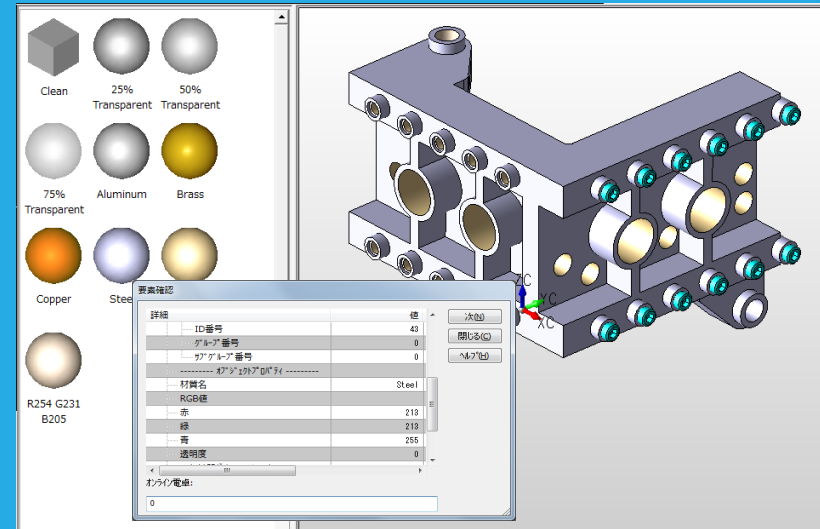


材質/RGBカラーに関連する改良

- 面とそれに関連する材質/RGBカラー属性間のリンクが改善されました

- パーツプリッタで材質/RGBを編集して、その材質に割り当てられているすべての面/ソリッド/シェルを更新できるようになりました。
- ユーザーは、編集済みの材質を使用して図形を更新するかどうか選択できます。

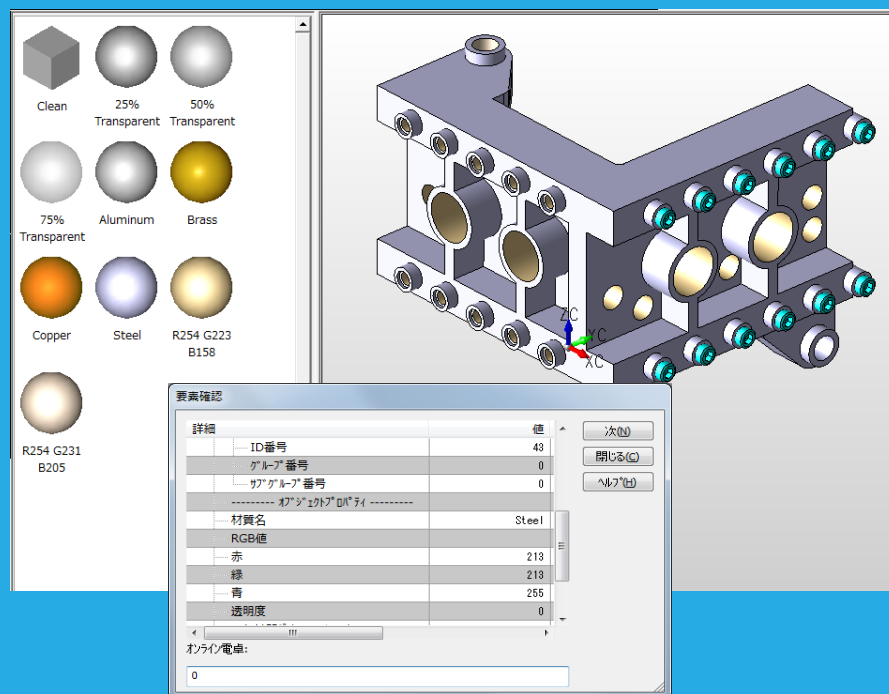
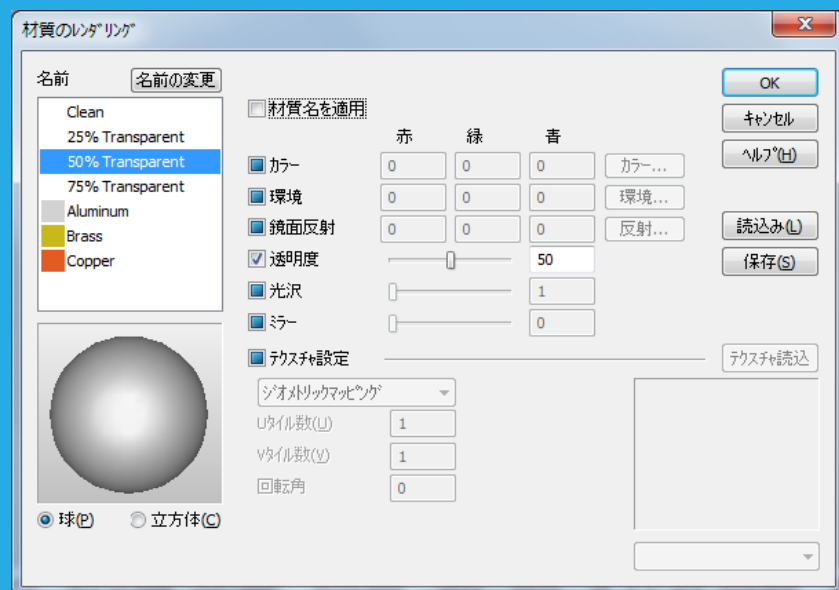
- 材質を削除すると、その材質を割り当てた図形の設定を解除できます。



材質/RGBカラーに関連する改良

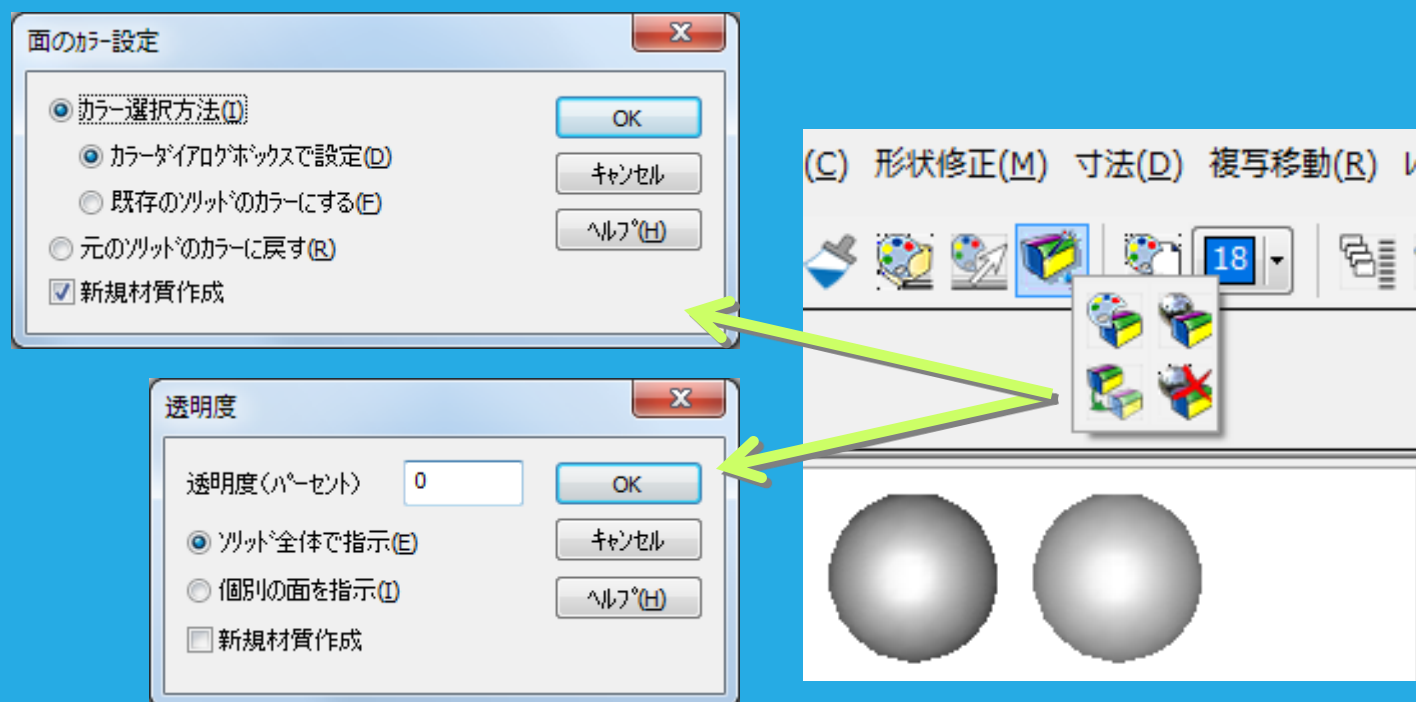
- 材質/RGBカラーの[材質名を適用]オプションにより、材質属性を適用するかどうか、またはいつ適用するかを決定できます

－ 一時的な状態だけで名前を変更しない方が、透明度などで使い易いです。



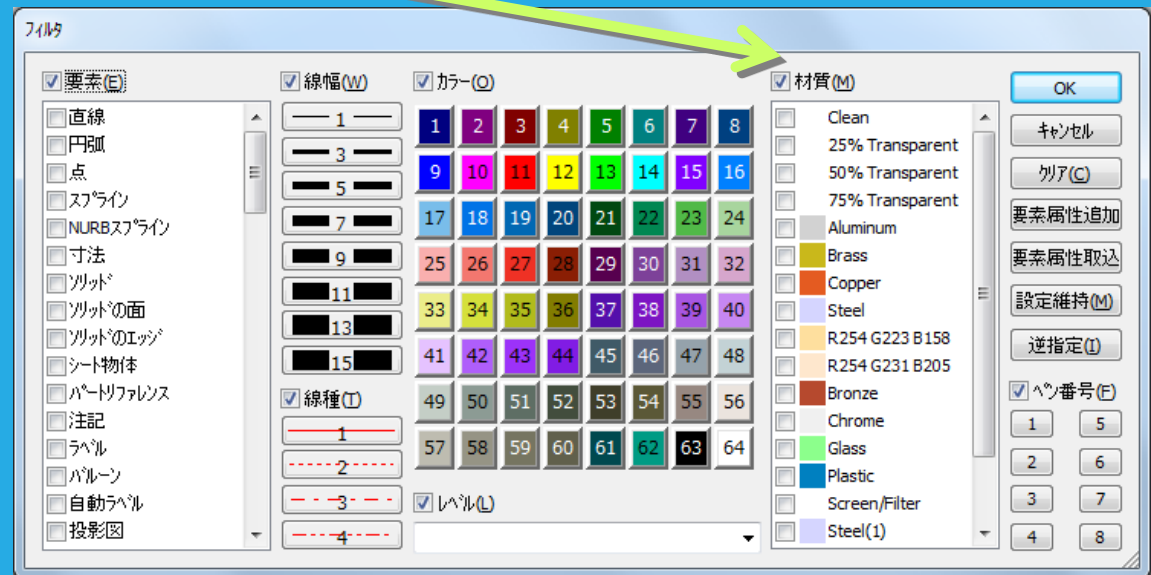
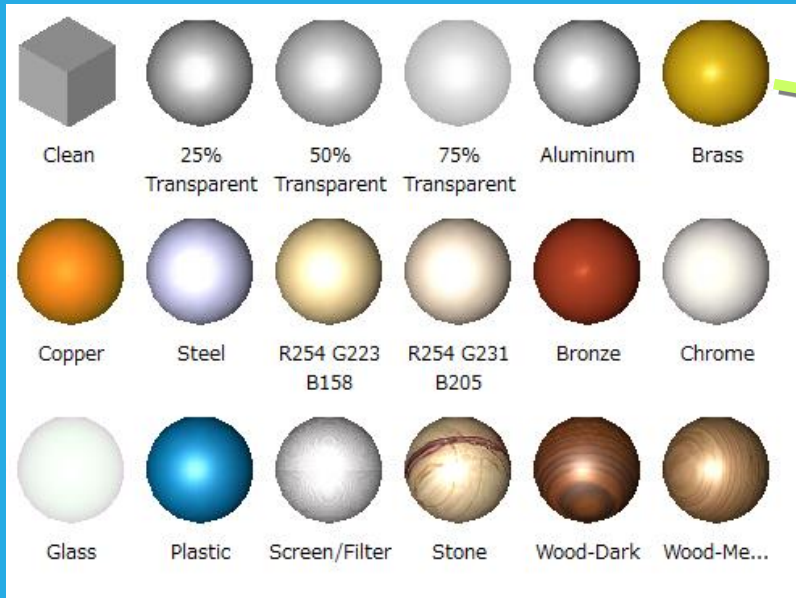
材質/RGBカラーに関連する改良

- 変更が一時的な場合、または属性が不要で視覚的影響のみの場合の材質/RGBカラーの[新規材質作成]オプション



材質/RGBカラーに関連する改良

- 材質/RGBカラーのダイアログが拡張され、材質のプレビューが表示されるようになりました
 - リスト内の材質のプレビューが表示されるようになり、見つけやすくなりました。

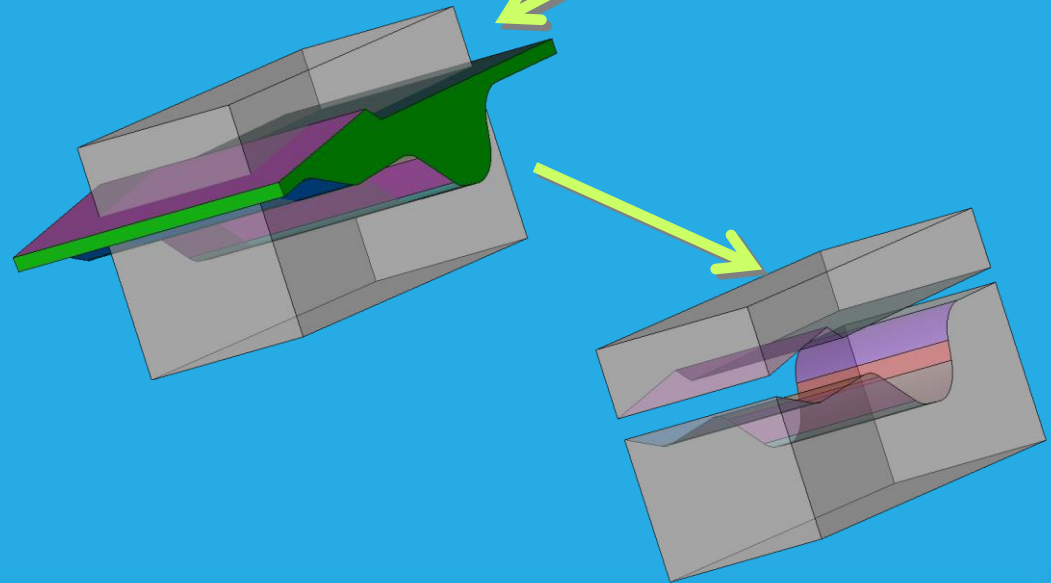
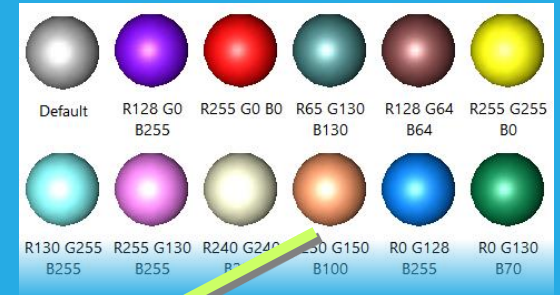


材質/RGBカラーに関連する改良

- ブーリアン論理差は、差を取るソリッドから材質/RGBカラーを適用するようになりました

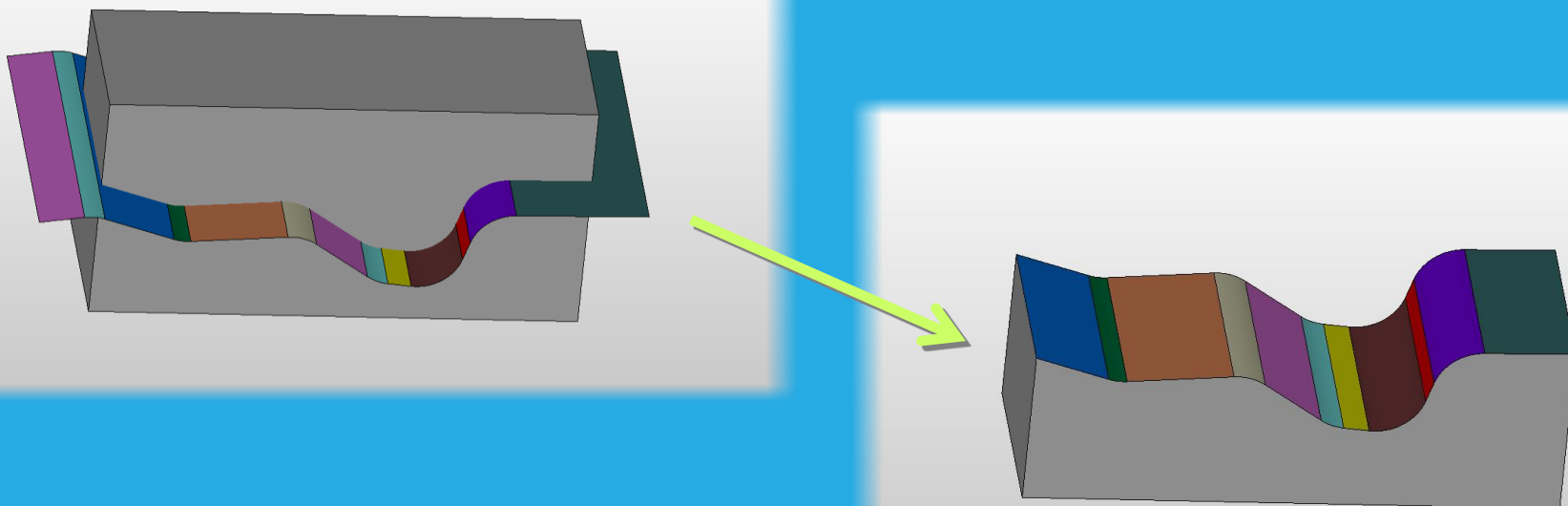
- 材質はソリッドと面に適用できます。
面属性はソリッド材質属性よりも優先されます。
- 標準の1-64パレットカラーには適用されません。

1	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31	32
33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48
49	50	51	52	53	54	55	56
57	58	59	60	61	62	63	64



材質/RGBカラーに関連する改良

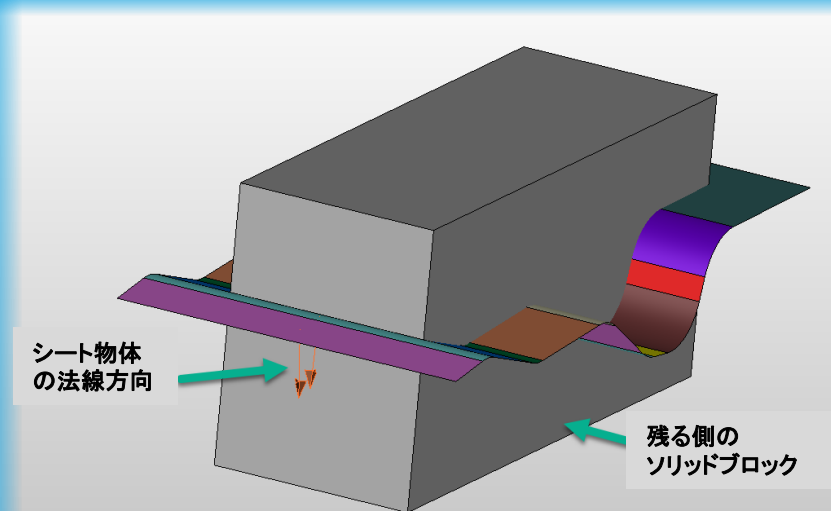
- シート物体をブーリアン論理差を利用して、材質/RGBカラーを転送できます
 - 次の手順を実行します:



材質/RGBカラーに関連する改良

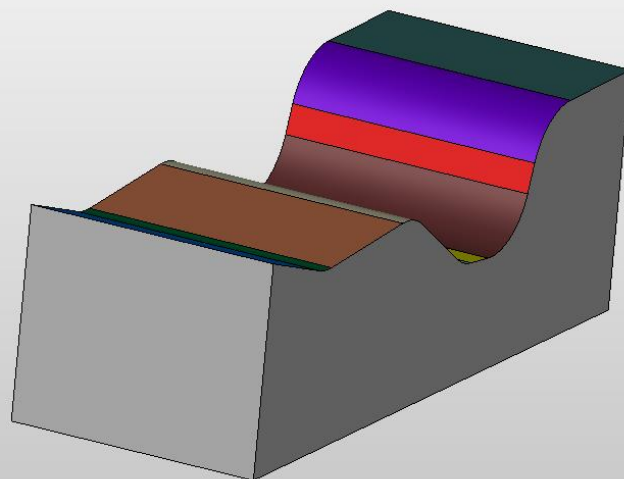
1. シート物体のシート面を片面に変更
 - a) ツール:メンテナンス:シートの表面変更で [片面]を選択し、シート物体を選択します。
2. シート物体の法線を、残る側のソリッドの方向を向くように変更します
 - a) ツール:メンテナンス:法線反転で [シート物体法線反転]を選択し、同じシート物体を選択して現在の法線方向を確認します。正しい方向を向いていない場合は逆にします。

2
1



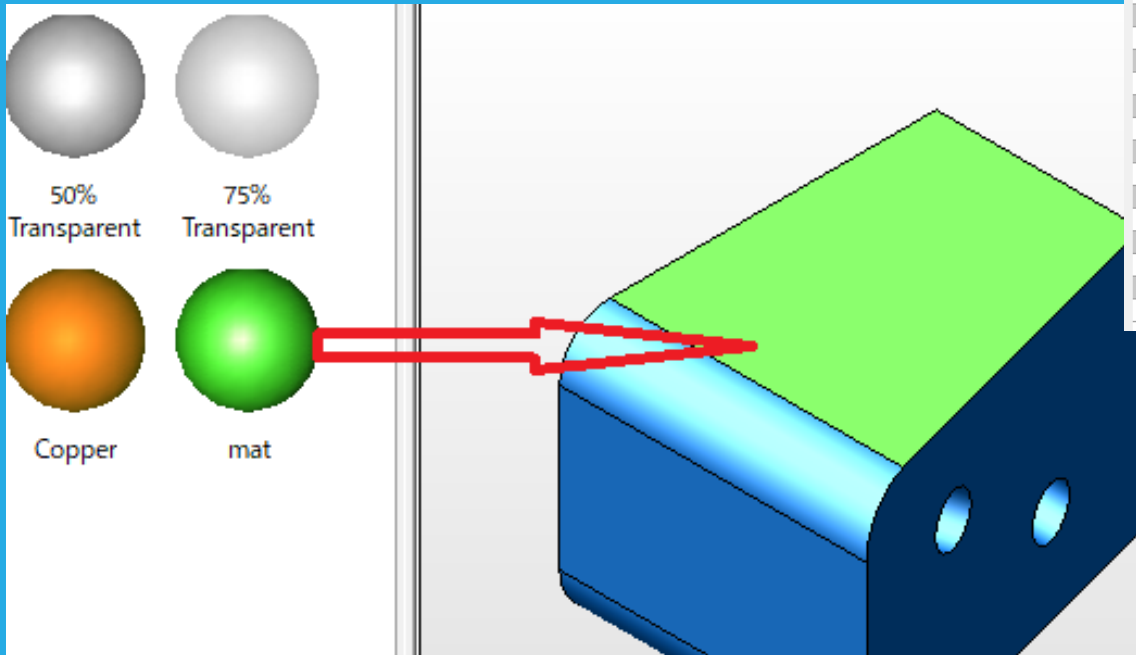
材質/RGBカラーに関連する改良

3. ブーリアン論理差でソリッドからシート物体の差を取ります。
 - a) 形状修正:ブーリアン:論理差または論理差+オリジナル



材質/RGBカラーに関連する改良

- トポロジー: 面の取出しでソリッドから取り出した面は、材質名とRGBの値を保持します



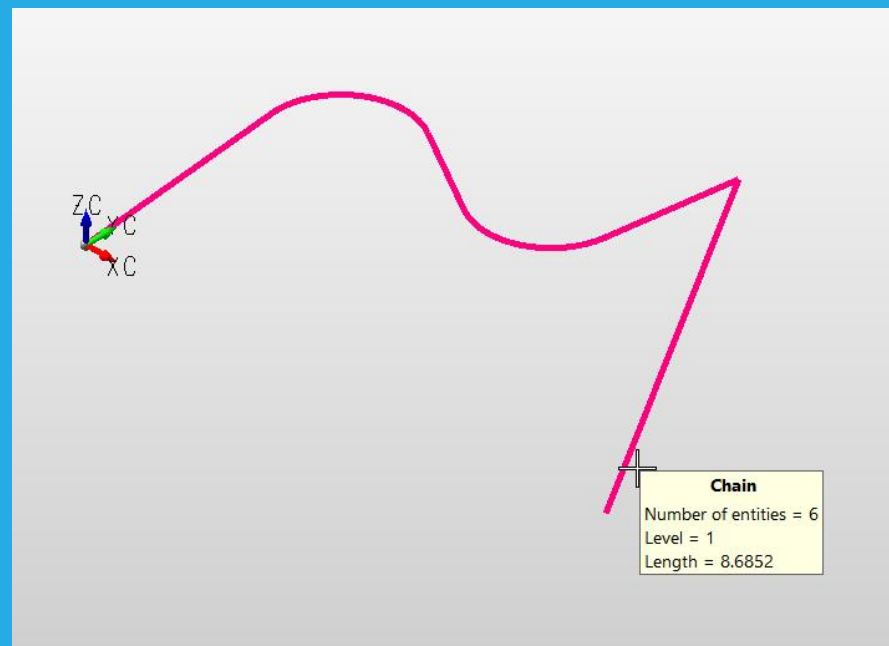
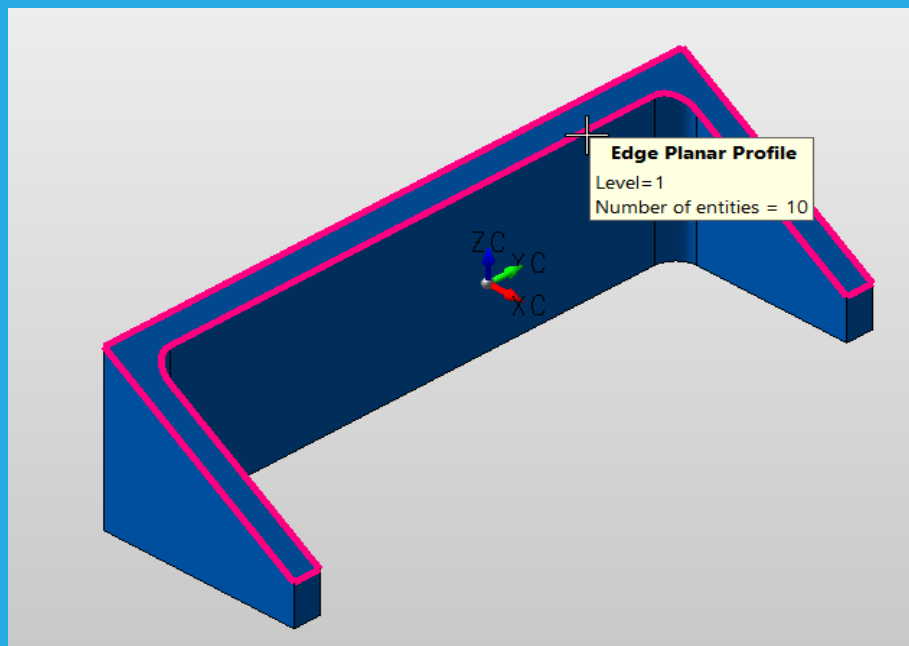
要素確認

詳細	値	変数
要素の属性と座標を確認		
要素タイプ	ソリッドの面	
親	ソリッド	
レベル		
レベル名	Unnamed	
レベル番号	1	
属性		
カラー	18	01
ペン番号	1	02
線種	1	03
線幅	1	04
ID番号	33	05
グループ番号	0	06
サブグループ番号	0	07
----- オブジェクトプロパティ -----		
材質名	mat	
RGB値		
赤	61	08
緑	232	09
青	30	010
面の数	2	011

	値	変数
	ソリッドの面	
	ソリッド物体	
	レベル	
	Unnamed	
	1	
	18	01
	1	02
	1	03
	1	04
	1609	05
	0	06
	0	07
----- オブジェクトプロパティ -----		
	mat	
	61	08
	232	09
	30	010
	2	011

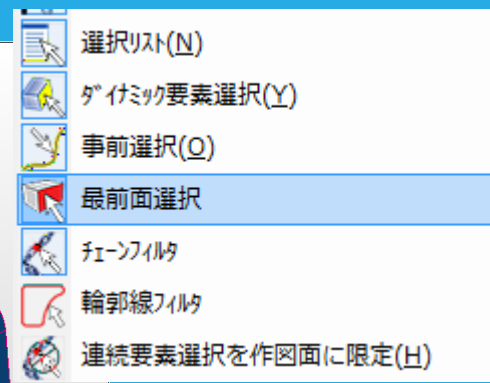
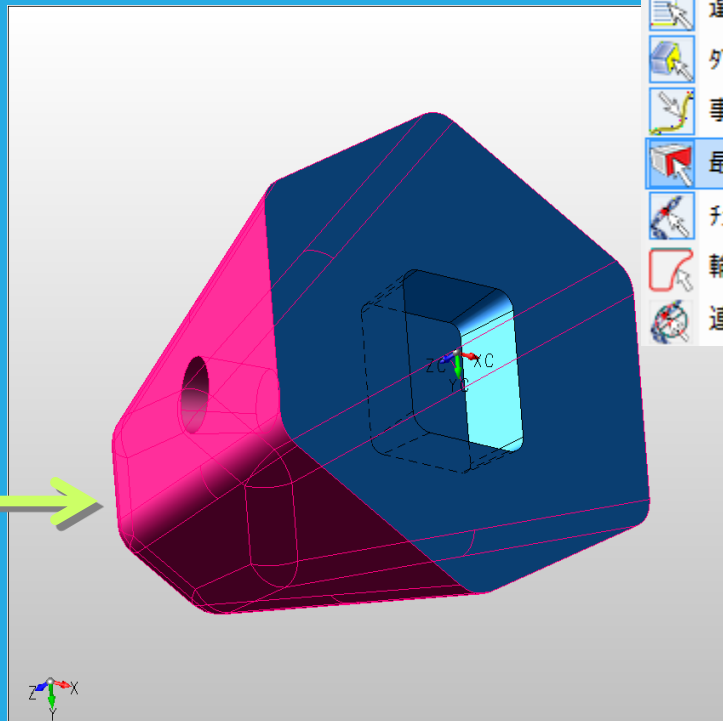
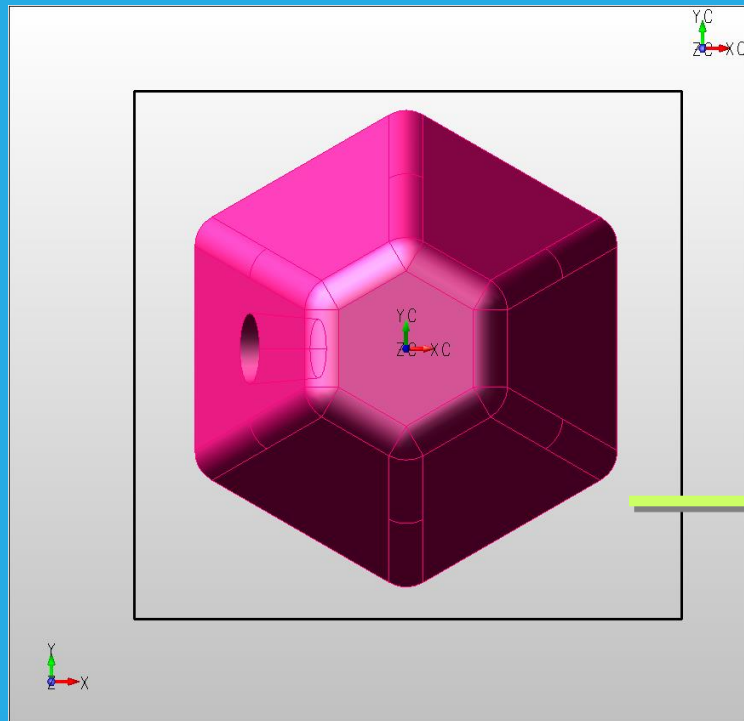
選択に関連する改良

- ダイナミック要素選択のツールチップは、
選択タイプ、要素の数など詳細情報を表示します



選択に関連する改良

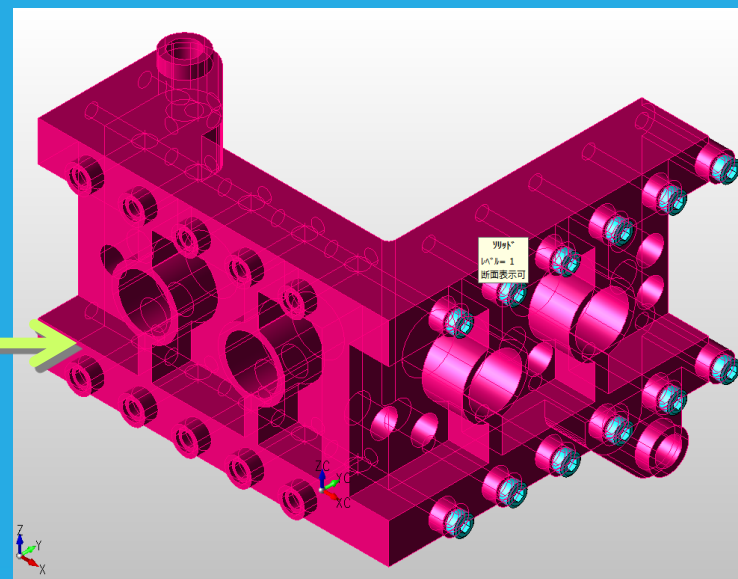
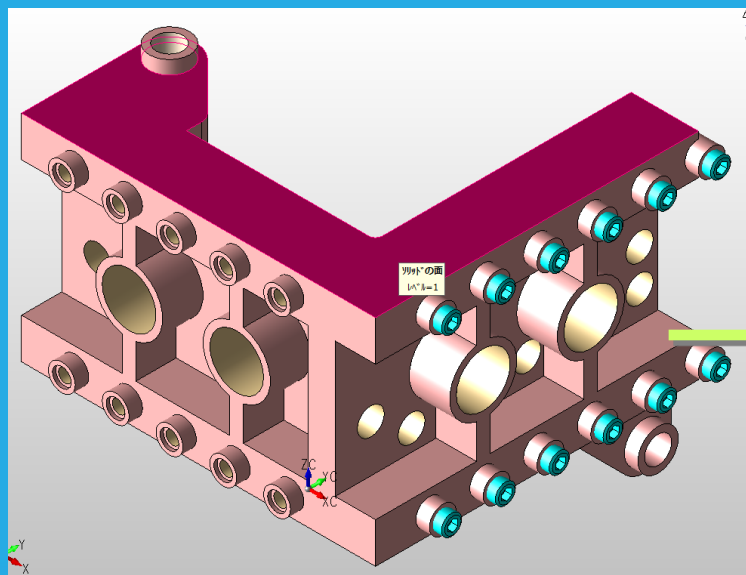
- 最前面選択は、ウィンドウで選択した要素を認識してフィルタリングできるようになりました
 - 最前面選択をオンに設定し、ビュー1でウィンドウ選択した場合、裏側は選択されていません。



選択に関連する改良

- 合成要素の解除は、要素単位でダイナミック選択をします

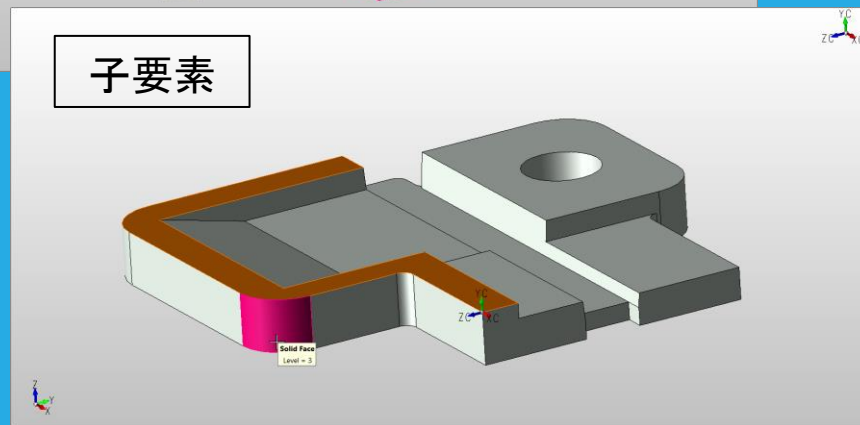
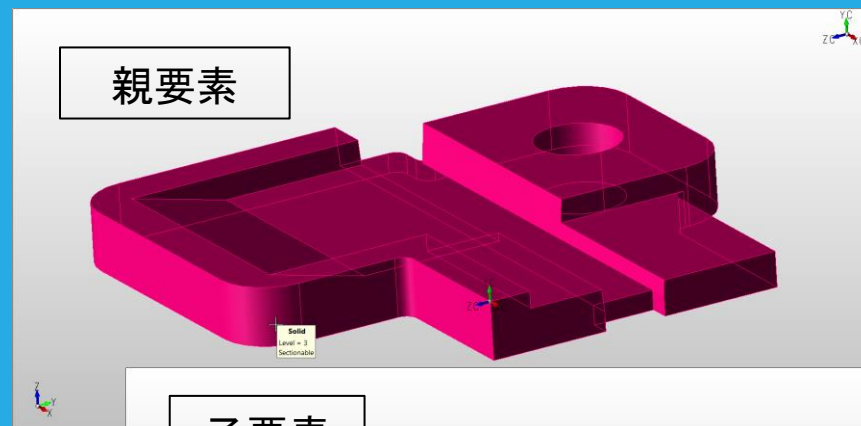
- 以前は、合成要素の解除でソリッドを選択する際、「ソリッドの面」が選ばれていました。期待どおりにソリッドが選択できず、切り替えキーを使うなど面倒でしたが、ソリッドをダイナミックに選択できるようになりました。



選択に関連する改良

- 要素選択において、子要素よりも親要素を優先的に選択するように改良しました

- 汎用編集で要素を選択する際、子要素(ソリッドの面)よりも、親要素(ソリッド)を最初にハイライトするようになります。
- [スペース]キーを使用すると、ハイライトは子要素に切り替わります。



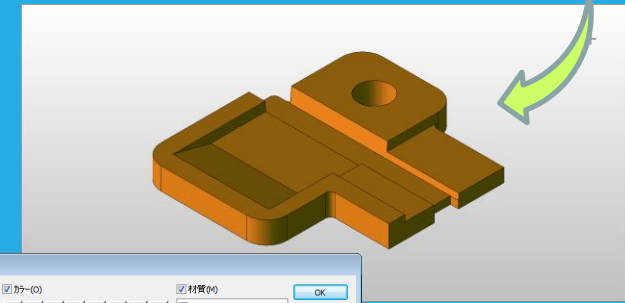
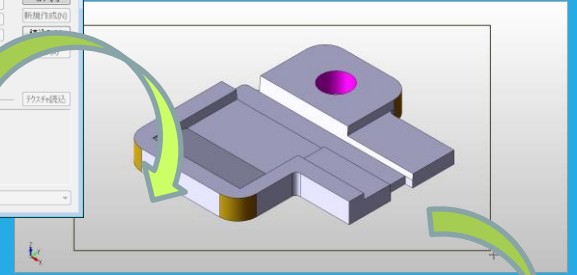
選択に関連する改良

- 材質設定は、ウィンドウ選択でボディ全体とその面の両方が選択された時、および、[全表示]のマスク設定がない場合はすべて、ボディを選択します

- 材質設定は、ウィンドウ選択でソリッドとその面(ソリッドの面)の両方が選択された時、ソリッドを選択します。
また、[全表示]のマスク設定がない場合もソリッドを選択します。

- 例)全表示:タイプ指定:ソリッドの面 を指定した場合は、ソリッドの面が選択されます。

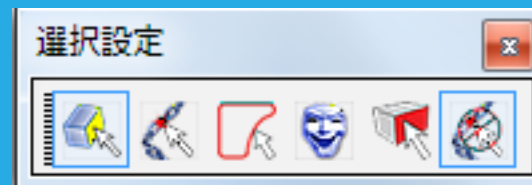
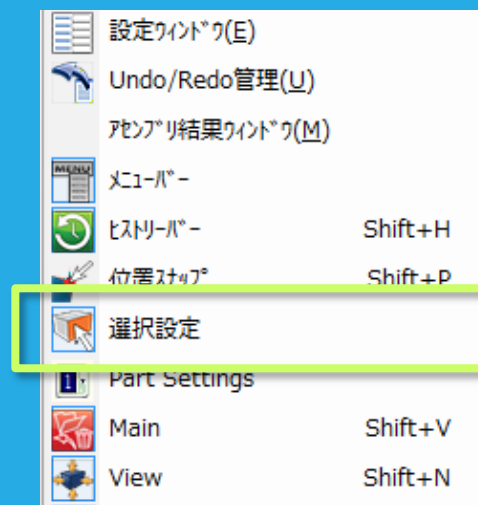
- 既にソリッドの面(子要素)に設定されているプロパティは、ソリッド(親要素)を選択すると設定解除されます。
- ウィンドウ選択を含む選択プロセスは、マスク設定が優先します。



選択に関連する改良

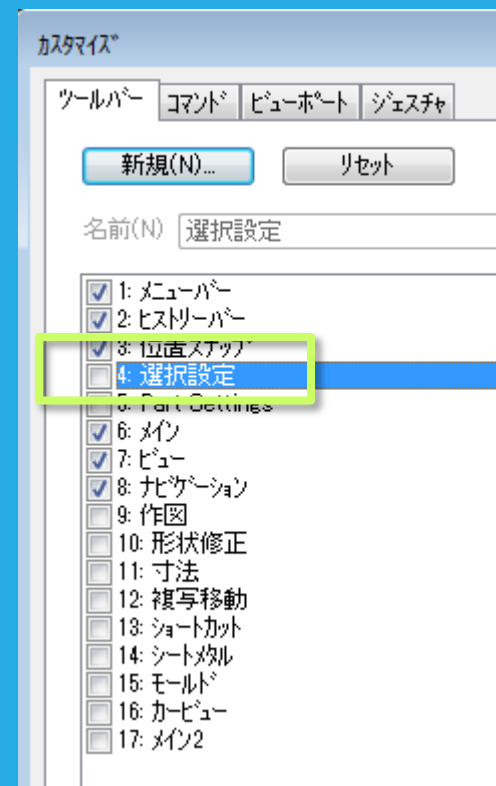
- 新しい選択設定ツールバーを使用して、要素選択の種類と動作を簡単に切り替えることができます

- 位置スナップツールバーのようにクリックでオン/オフ切替えができます。
- ツールバーには次の切り替えが含まれています：
 - ダイナミック選択
 - チェーンフィルタ
 - 輪郭線フィルタ
 - フィルタ設定
 - 最前面選択
 - 連続要素選択を作図面に限定



選択に関連する改良

- 選択設定ツールバーは、ツール:カスタマイズ:ツールバーのNo.4に設定されています。デフォルトでは表示オフです。
- 選択設定ツールバーは、ツールバーの番号の4番に割り込んで追加されたため、それ以降のツールバー番号がシフトされています。
カスタマイズでツールバーをキーボードに割り当てている場合などは影響があるかもしれません。
ご注意ください。



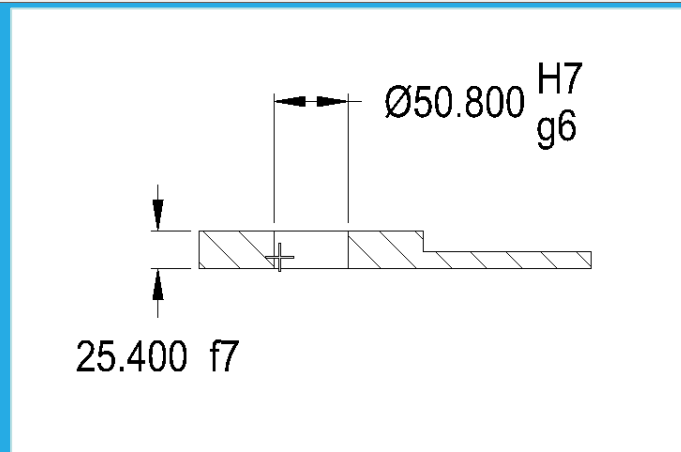
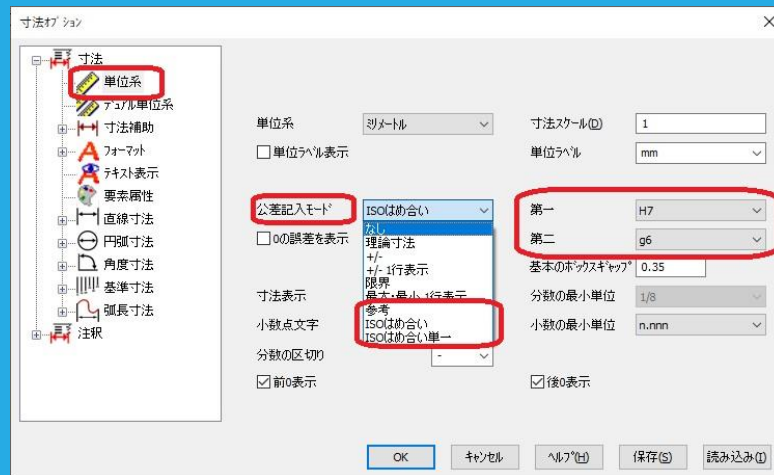
寸法/MBDの機能強化

- ISOのはめあい公差が寸法の単位系と寸法要素変更:公差に追加されました

- 今後も機能追加予定です。

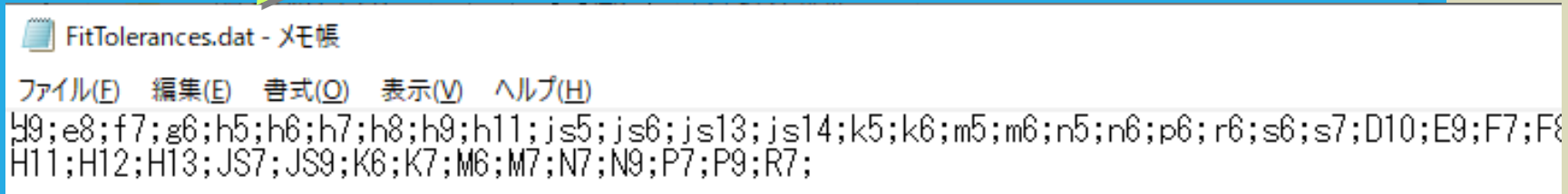
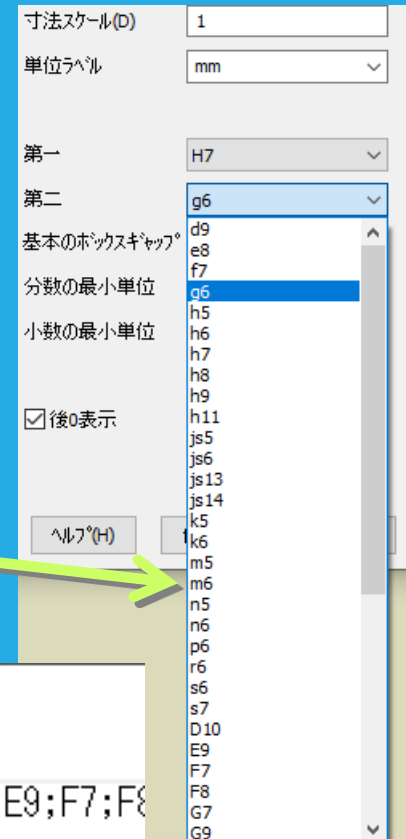
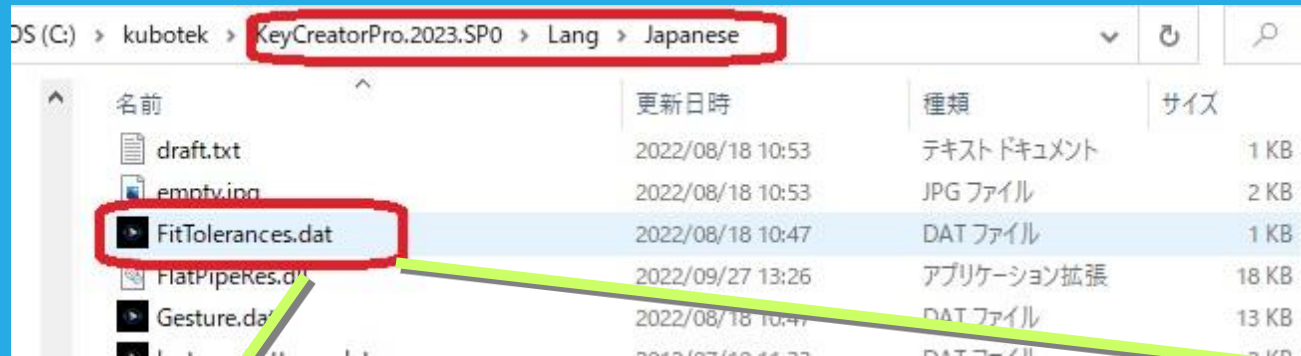
- 公差記入モード

- ISOはめあい
- ISOはめあい単一
- ダイアログで [正公差]と [負公差]が [第一]と [第二] に変更されました。



寸法/MBDの機能強化

- ISO はめあい公差値はファイルから読み取られ、ユーザーがカスタマイズできます:
...¥Lang¥Japanese¥FitTolerances.dat



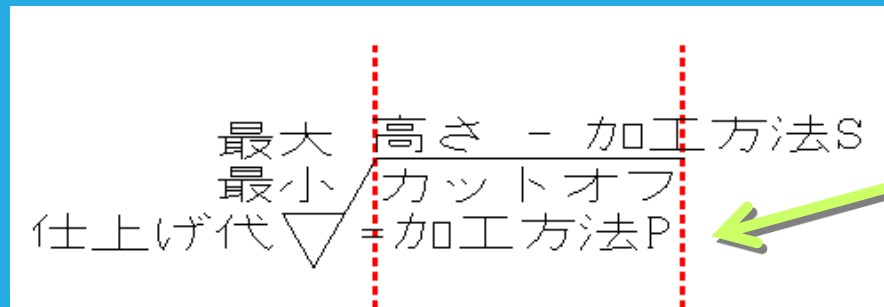
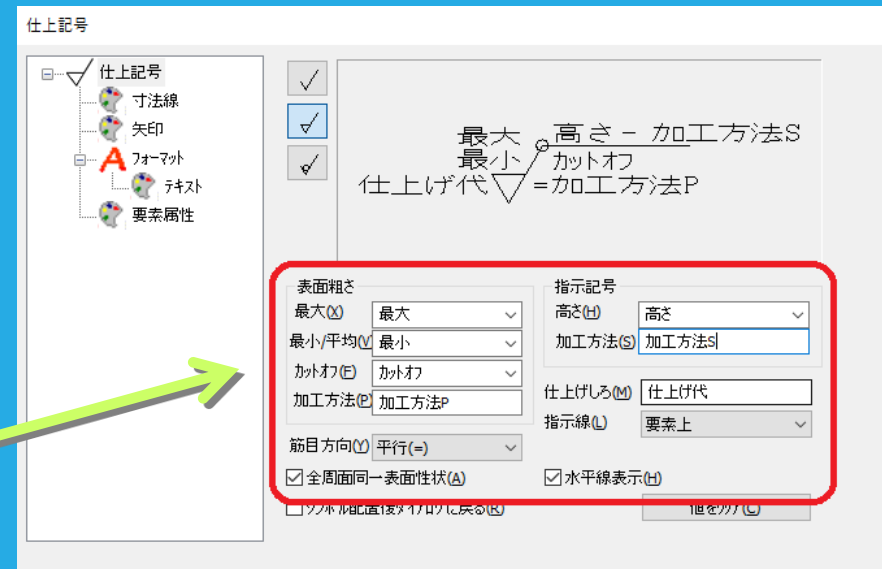
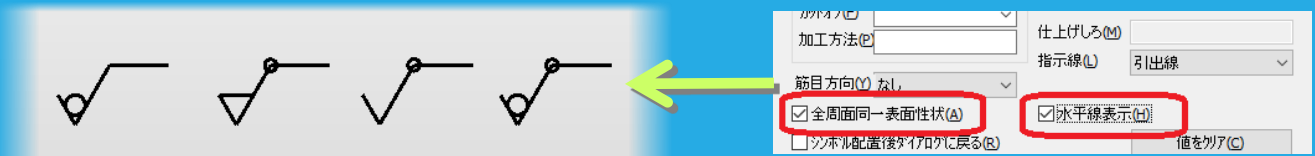
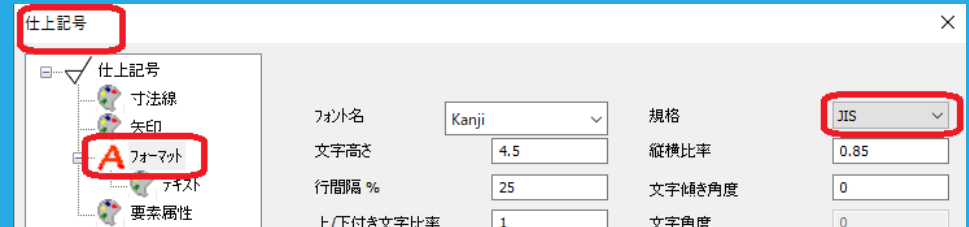
寸法/MBDの機能強化

• 新しいJIS規格での、4つの仕上げ記号を追加しました

- [全周面同一表面性状] および [水平線表示] のオプションを追加

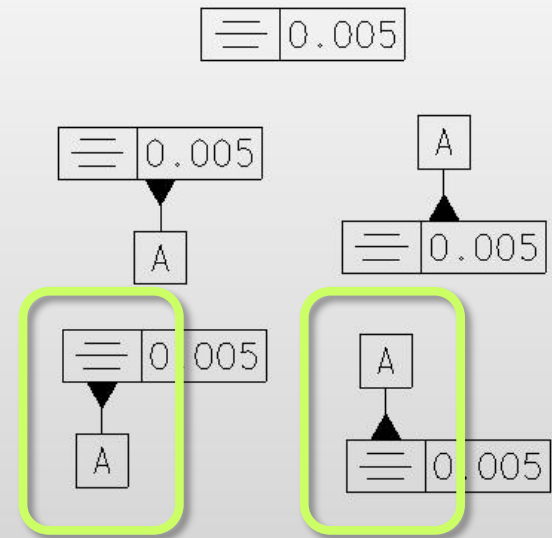
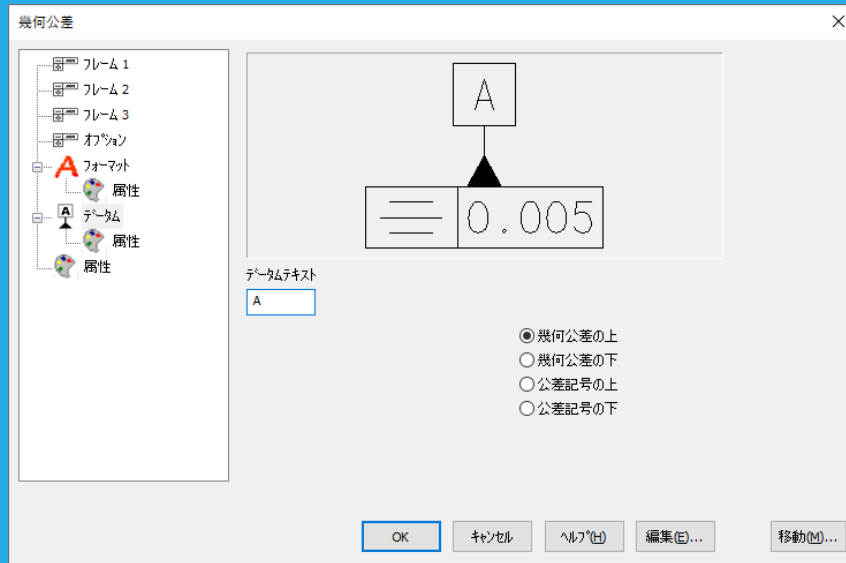
- テキストは左寄せされます

- 水平線の長さはカットオフに入れた文字の末尾まで延長されます



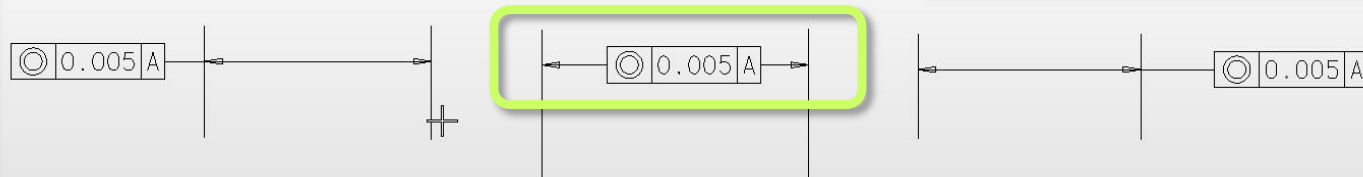
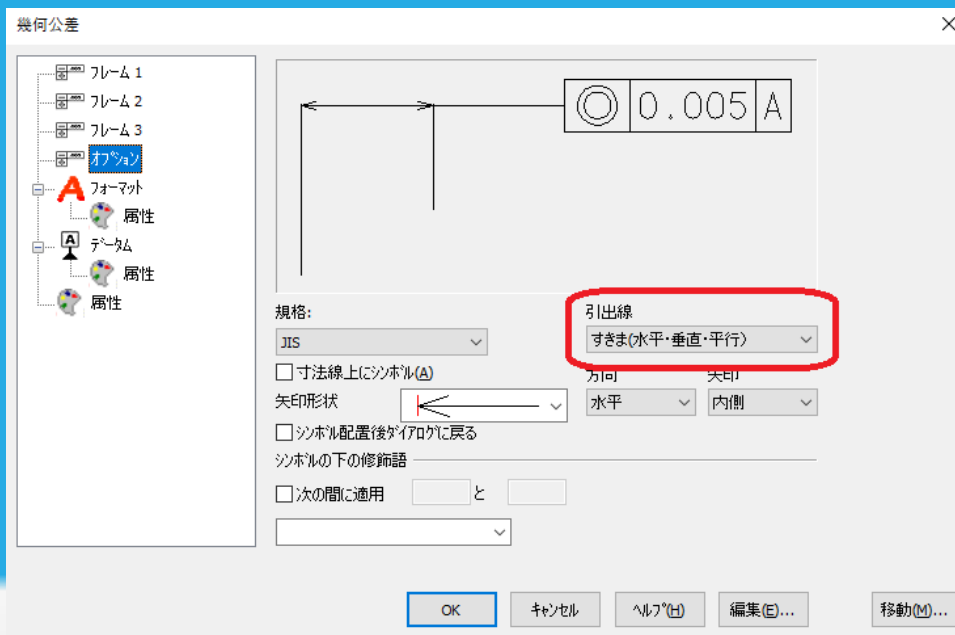
寸法/MBDの機能強化

- 幾何公差がASME(アメリカ機械学会)Y14.5-2018規格に更新されました
- 幾何公差のデータム配置オプションを強化
 - 公差記号の上/下が追加されました



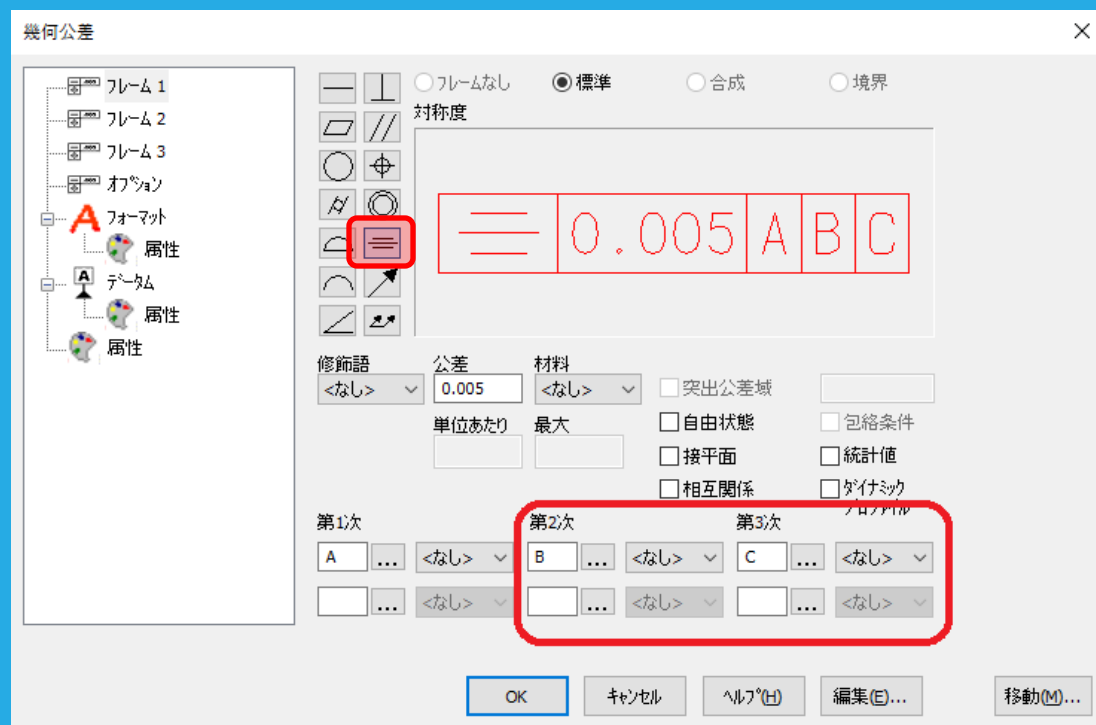
寸法/MBDの機能強化

- 幾何公差 オプションで、引出線スタイルを [すきま(水平・垂直・平行)] にすると引出線の間配置できます



寸法/MBDの機能強化

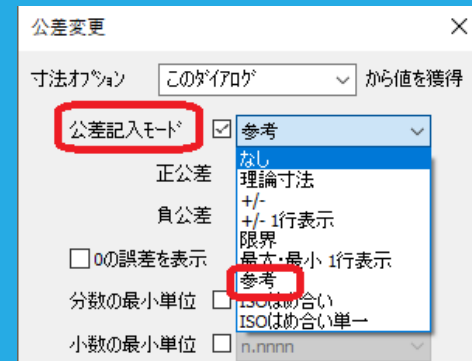
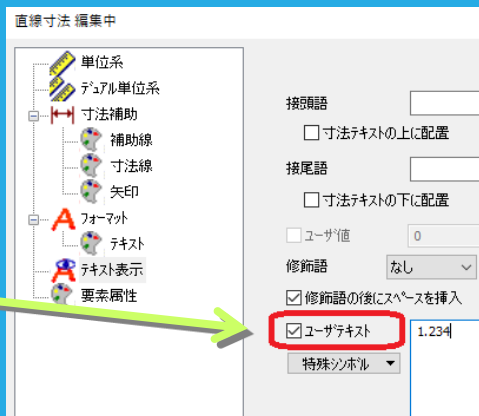
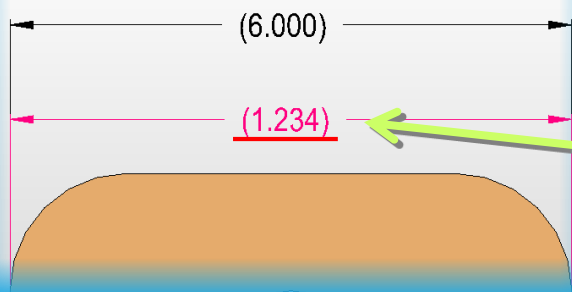
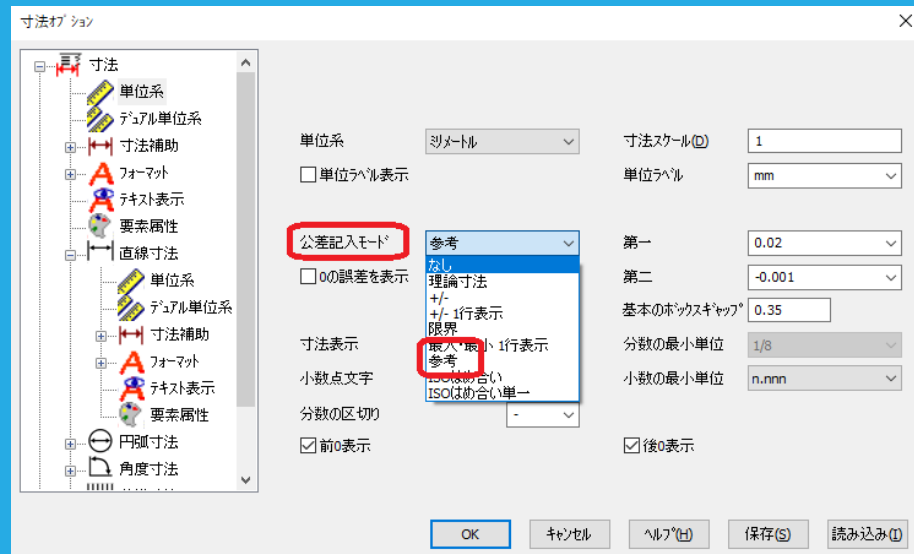
- 幾何公差の対称度が、優先順位での複数データムを表記できるようになりました



寸法/MBDの機能強化

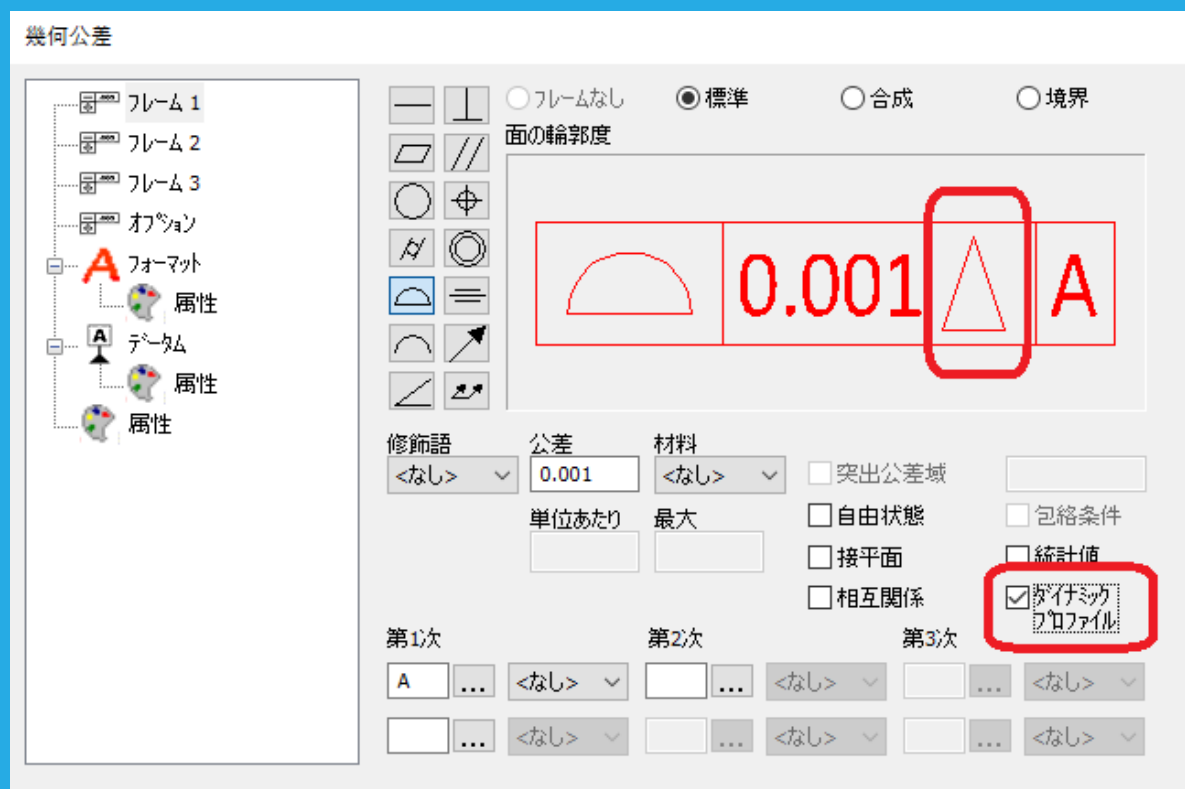
- 寸法:オプションのダイアログと寸法:寸法要素変更:公差のダイアログボックスにある[公差記入モード]リストに新たに[参考]が追加されました

- 値を括弧で括ります。
- 連動寸法とユーザーテキスト(非連動寸法)の両方に適用されます。



寸法/MBDの機能強化

- 幾何公差に新しく[ダイナミックプロファイル]が追加されました

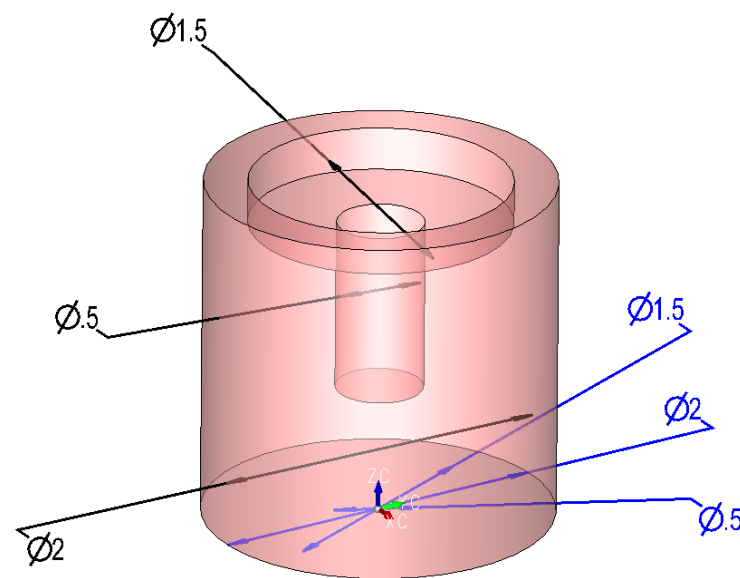


寸法/MBDの機能強化

- 直径寸法と半径寸法は、エッジだけでなくモデル空間の円形面に対しても機能します

– 寸法の配置は、作図面設定 および Zフリー/Zロック設定に従います。

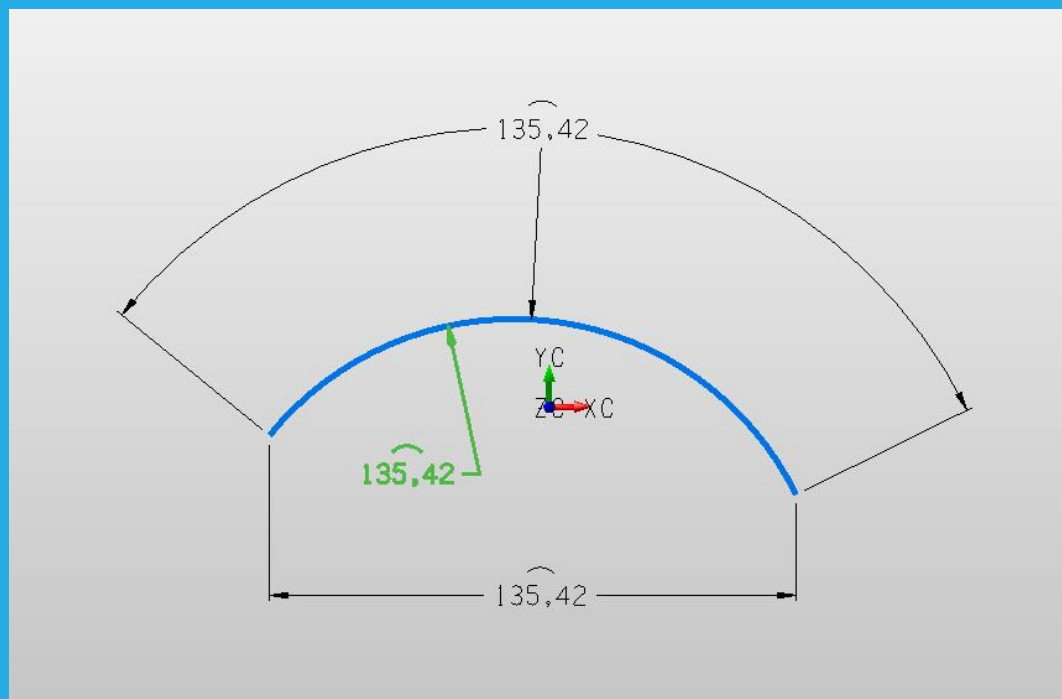
- Zフリー - 寸法テキストは選択面の近くに配置されます。
- Zロック - 寸法テキストは作図面上に配置されます。



活性レベル=1 S=32.0223 XC=-6.1588 YC=3.9373 ZC=0.0000 CP=1 DV=0 mm 絶対 Zフリー D=0.0000 位置スタブ

寸法/MBDの機能強化

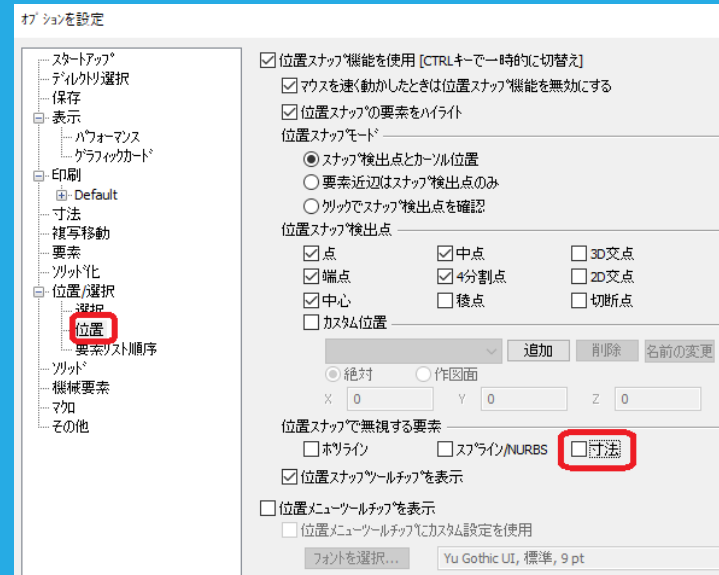
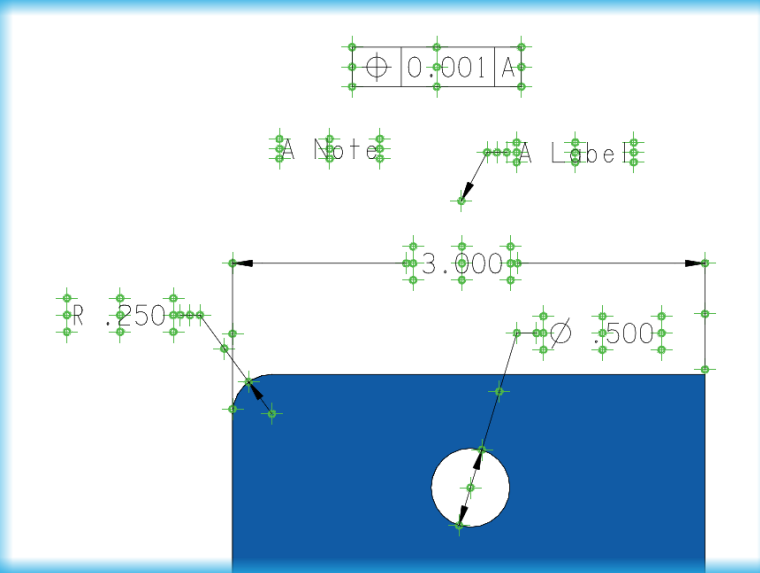
- 弧長寸法に、[折れ線]の新しいオプションが追加されました



寸法/MBDの機能強化

● 寸法と注釈の位置選択の強化

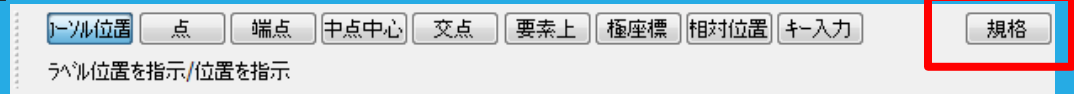
- 文字の位置は、端点 および 中点/中心 が選択できます。
- ツール:オプション:位置/選択:位置にある[位置スナップで無視する要素]の[寸法]をオフにする必要があります。



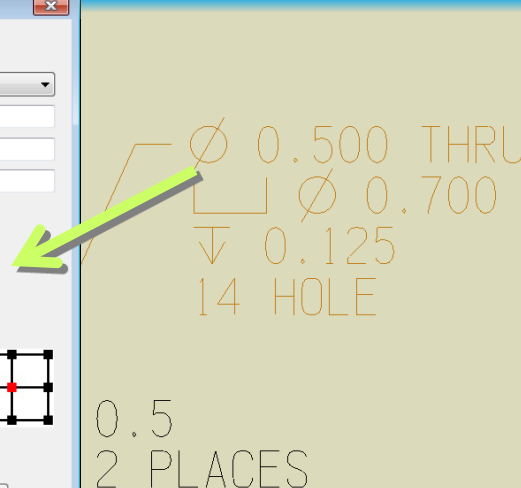
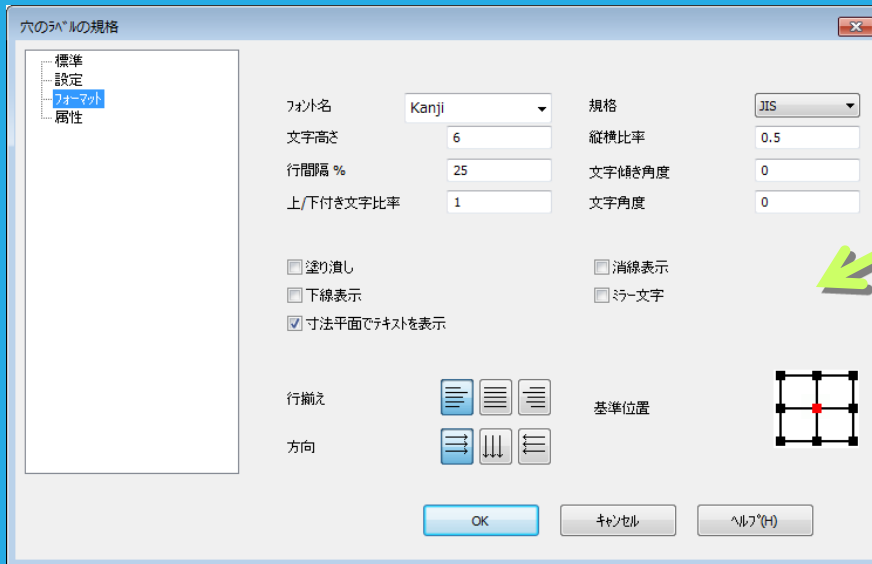
寸法/MBDの機能強化

- 穴の自動ラベルの編集に新しく[フォーマット]が追加され、テキストスタイルをすばやく変更できるようになりました

- 自動ラベルを実行した時の[規格]ボタン



- 汎用編集(コンテキストメニューによる汎用編集)



寸法/MBDの機能強化

- 注記のフィールド変数 | 401 (寸法テキスト 区切り) は、ID番号を使用して注記とラベルからテキストを取得できるようになりました

- 寸法値が変わったり、注記内容を変更しても更新されない場合は、寸法:注記:フィールドの更新 を利用してください。

My Note:
Line ID = ID #1
Dim text = 1.764
Label text = "My Label For A Line"

Format Note

My Note:
Line ID = ID #1
Dim text = 140121401
Label text = "140131401"

フィールド

ファイル名
拡張子なしファイル名
パート名
ファイルパス
システム時間 (区切り)
レベル名
レベル番号
単位
スプライン許容誤差
一致判定誤差
マシ数値式 (区切り)
マシ文字列変数 (区切り)
フィールドプロパティ
パートプロパティ
レアウト名
レアウト詳細
レアウト縮尺
レアウト用紙フォーマット
要素長 (区切り)
寸法テキスト (区切り)
要素名
要素パートプロパティ
要素ファイルプロパティ

クリア フィールド シンボル

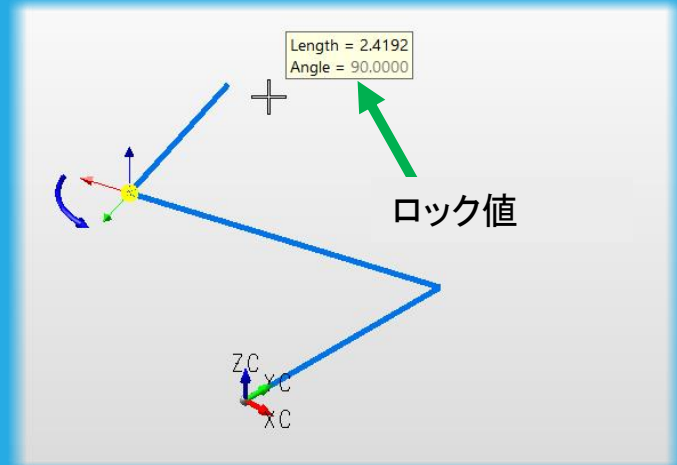
OK キャンセル ヘルプ(H) 属性取込

その他の改良－スケッチの改良

● スケッチの改良

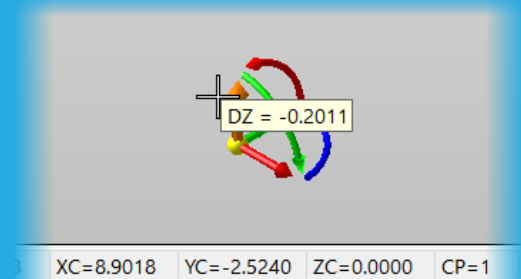
－ 作図のダイナミックスケッチを[スケッチ]に
コマンド名変更し、以下との統合が改善されました。

- 位置スナップ
- コンバセーションバーボタン
- キーボードショートカット
- ロック値または編集値を表示するツールチップが明るくなりました。



－ [Tab]キーを使用して、ツールチップフィールドにアクセスできます。

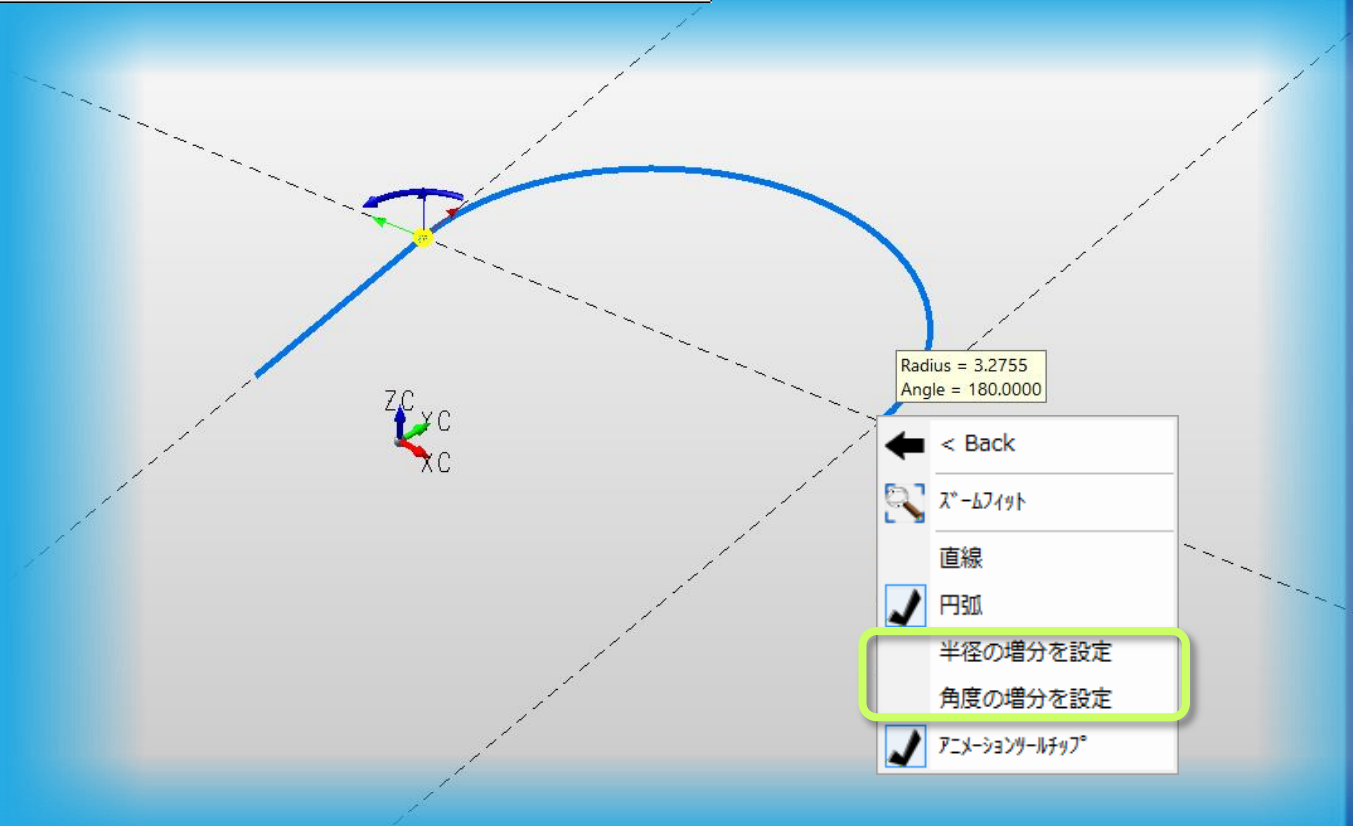
－ ダイナハンドルツールチップには、ステータスバーに
表示されるのと同じ桁数が表示されます。



その他の改良 – スケッチの改良

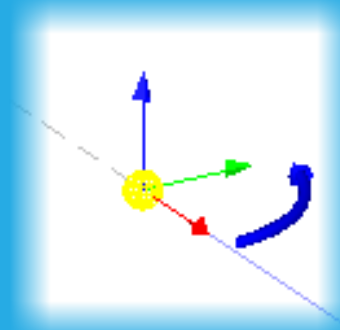
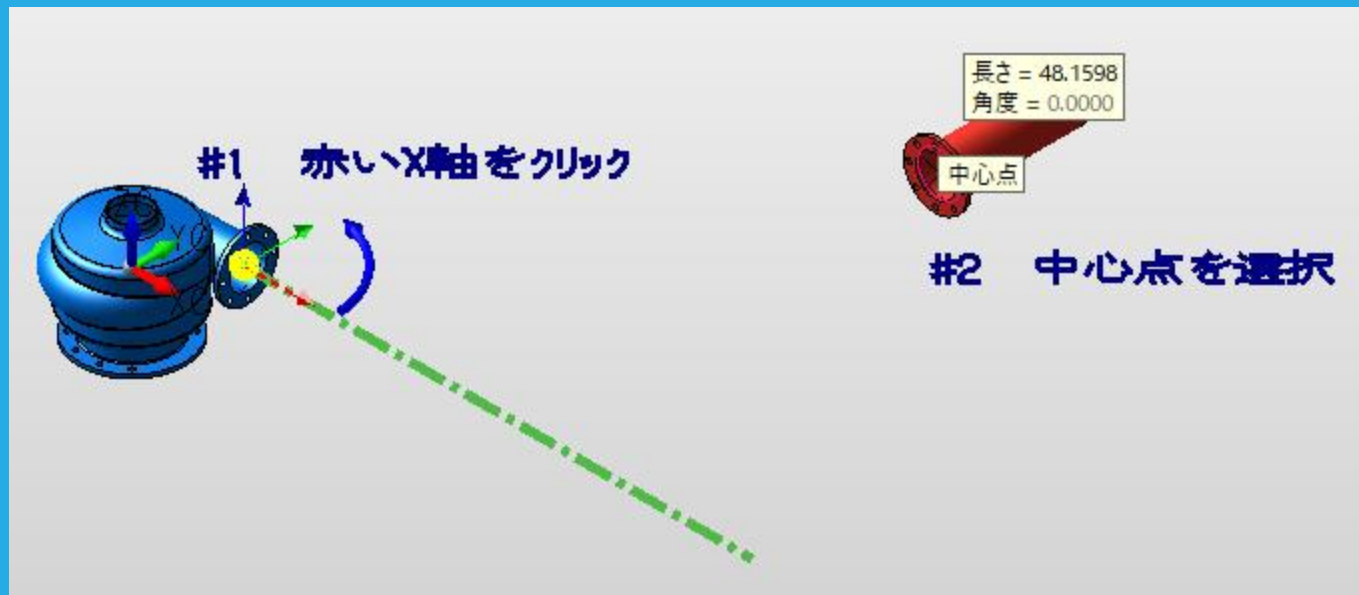
- スケッチの円弧モードのコンテキストメニュー(マウスの右ボタンメニュー)に半径と角度の増分を追加しました

増分値を入力 OK < Back キャンセル



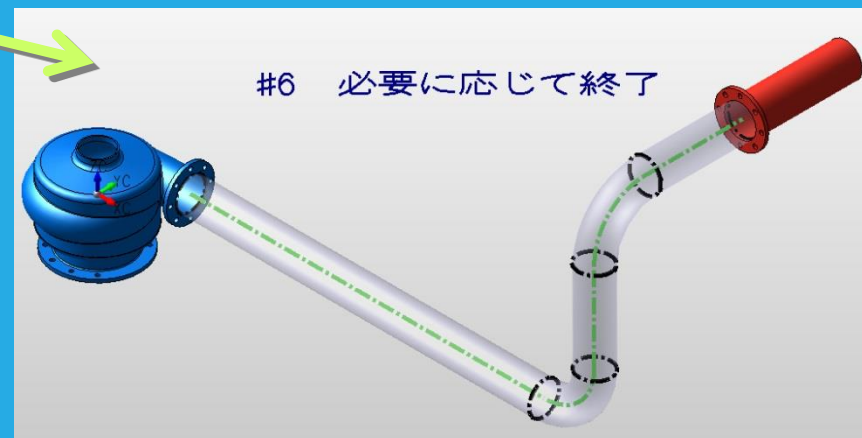
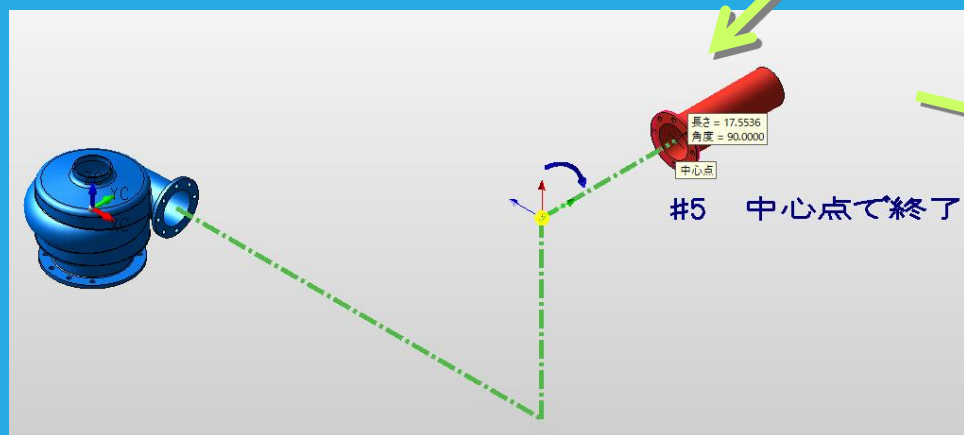
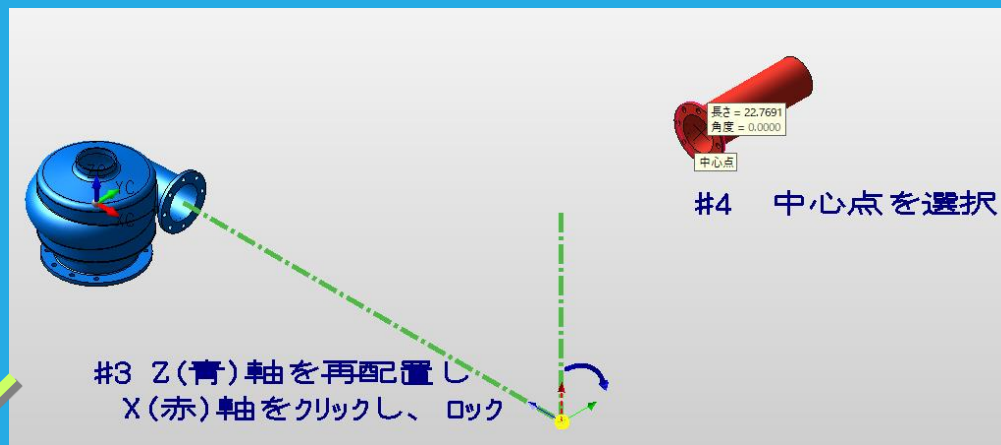
その他の改良－スケッチの改良

- スケッチのダイナハンドルから、軸をロックして他の要素の有意点からX、Y、Zの位置にスナップできるようにしました。
 - X(赤)またはY(緑)軸をクリックすると、単一軸上にロックされます。



その他の改良 – スケッチの改良

- Z(青)軸はロックされません
- 必要な軸をロックするように再配置する必要があります



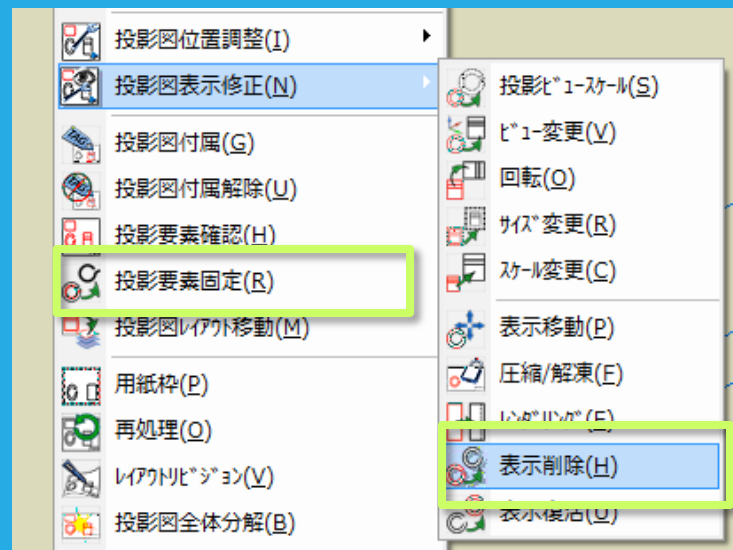
その他の改良

• レイアウト内での事前選択が改善されました

- 事前選択した投影図内の要素(エッジ)が、コマンドに応じてすぐに表示が更新されます。

- これらの機能に影響します。

- レイアウト: 投影図表示修正: 表示削除
- レイアウト: 投影要素固定

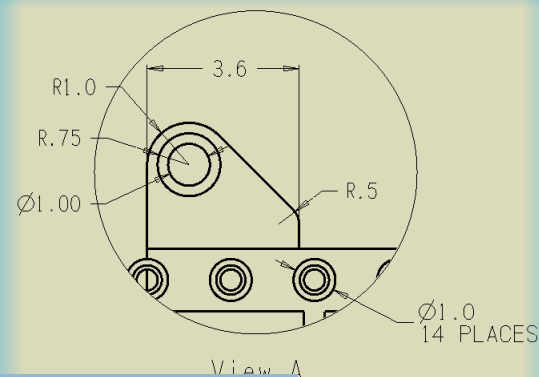


- 今まで、事前選択で投影図内の要素(エッジ)を選択してからコマンドを実行しても、再度エッジを選択する必要がありました。事前選択で投影図内の要素(エッジ)を選択してからコマンドを実行すると、すぐに更新します。

その他の改良

レイアウト: 部分拡大図 に属性ボタンが追加されました

- 部分拡大図の作成中に属性を設定できます。



部分拡大図

ラベル文字(L) 文字の更新

ラベルテキスト(A)

拡大図タイトル(C)

拡大スケール(S)

拡大範囲 円弧 長方形

モデルからのスケール(M) 拡大スケール表示(D)

常に投影図の枠を表示(B) 付属要素(T)

投影図修正

投影図

- 投影図の枠の属性
- 表示線の属性
- 隠れ線の属性
- 外形線の属性
- 表示接線の属性
- 隠れ接線の属性

投影図名(N)

ビューリスト(D)

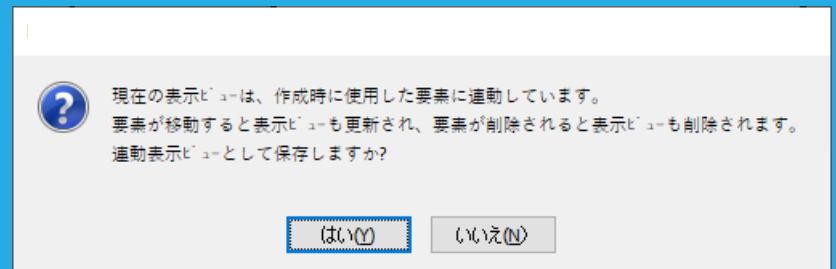
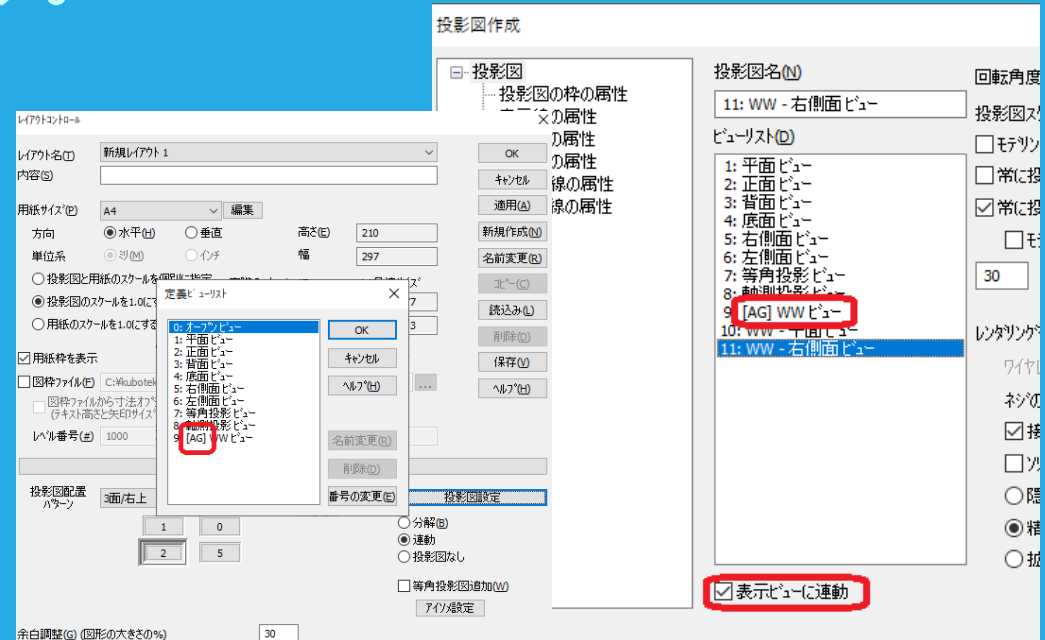
- 1: 平面ビュー
- 2: 正面ビュー
- 3: 背面ビュー
- 4: 底面ビュー
- 5: 右側面ビュー
- 6: 左側面ビュー
- 7: 等角投影ビュー
- 8: 軸測投影ビュー

その他の改良

- 投影図のビューリストで連動表示ビューに【AG】が先頭に付きました。連動ビューをすぐに識別できます。

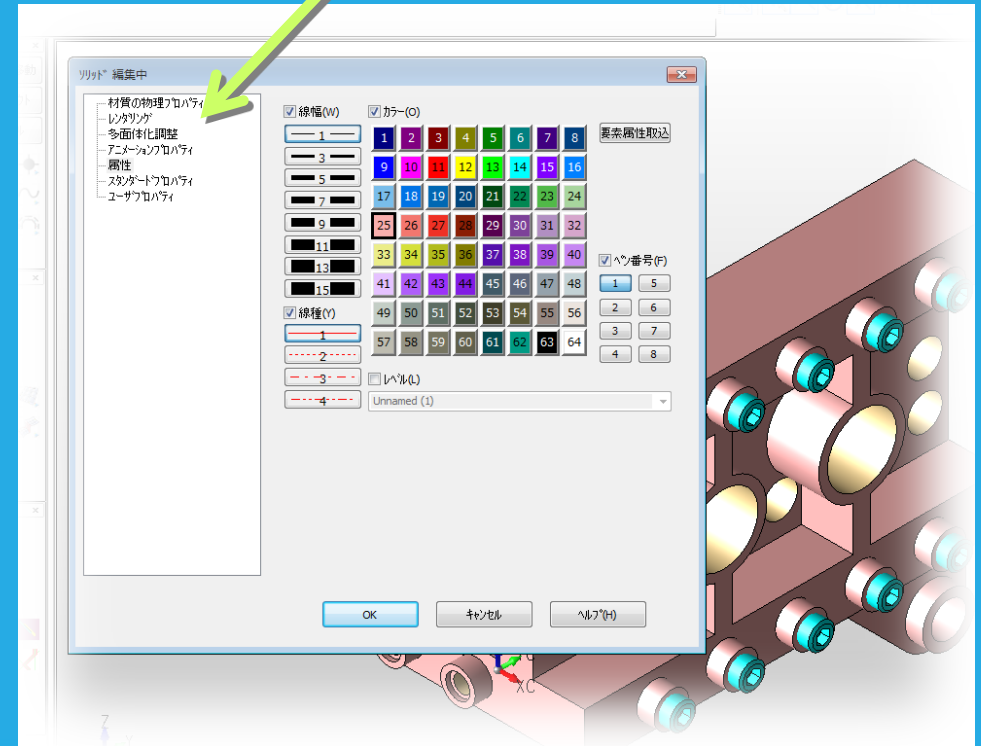
- 連動表示ビューは、連動する要素が変更されると更新されます。
 - 「表示ビューに連動」を忘れずにチェックしてください。
- 連動表示ビューをレイアウトで使用できるようにするには連動保存する必要があります。

- カスタムビューをモデルモードで保存する際に表示されるメッセージで「はい」を選択します。



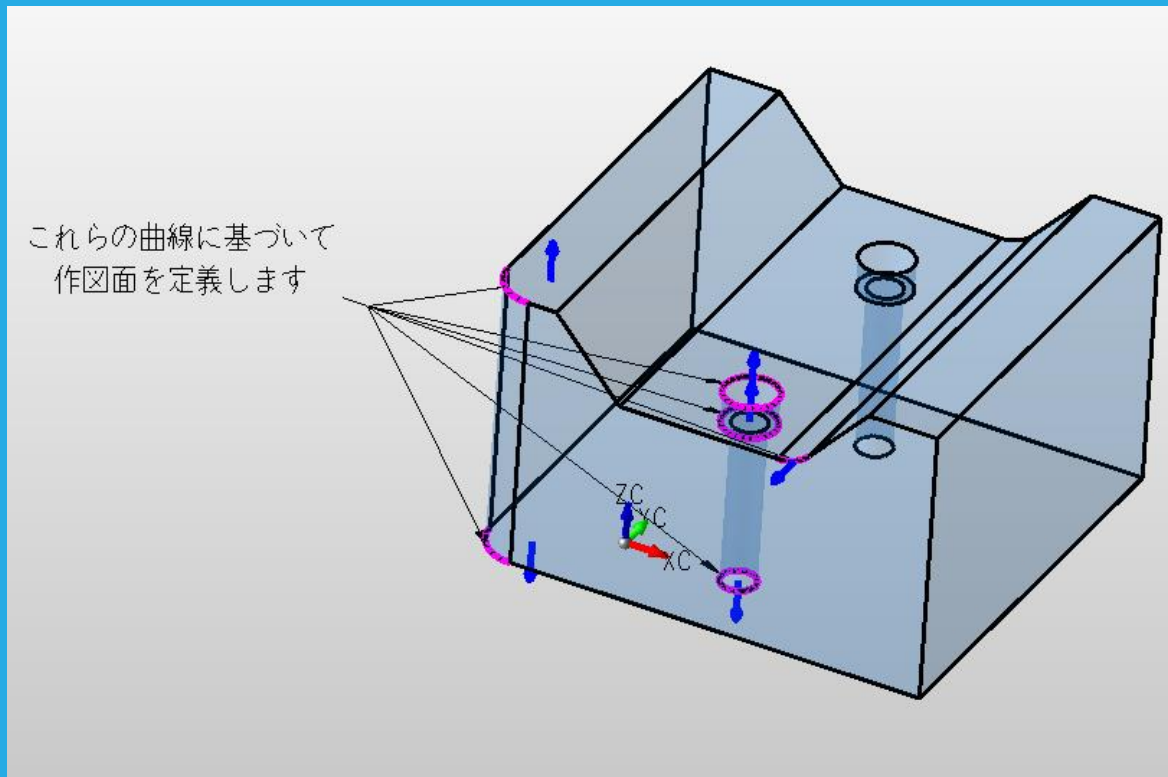
その他の改良

- 汎用編集でソリッドを選択した際、最後のツリーアイテム（ダイアログ左側の項目）を記憶するようになりました
 - － 複数の変更を行う時に、効率的に編集できます。



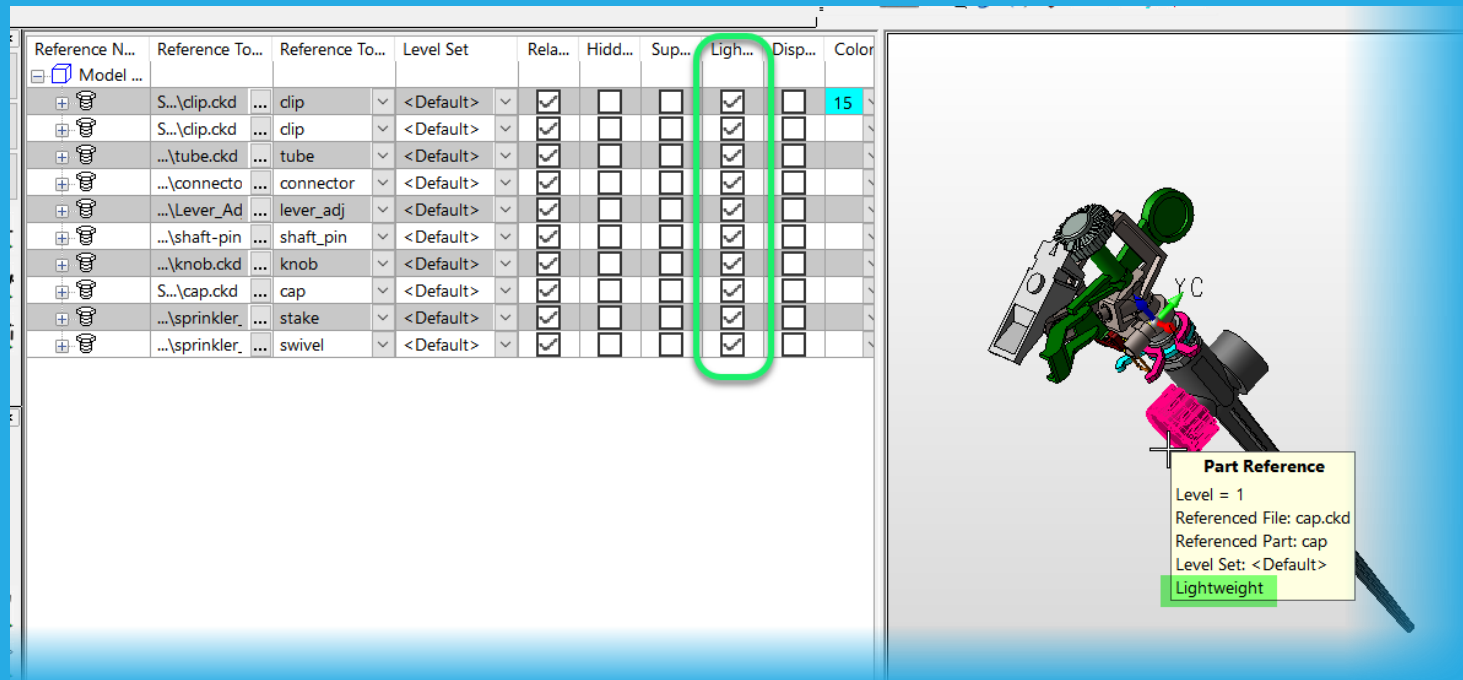
その他の改良

- ソリッドの平面上にある円弧エッジからの作図面およびビューの定義は、ソリッドの法線方向またはその面の選択時と同じZ軸方向になります



その他の改良

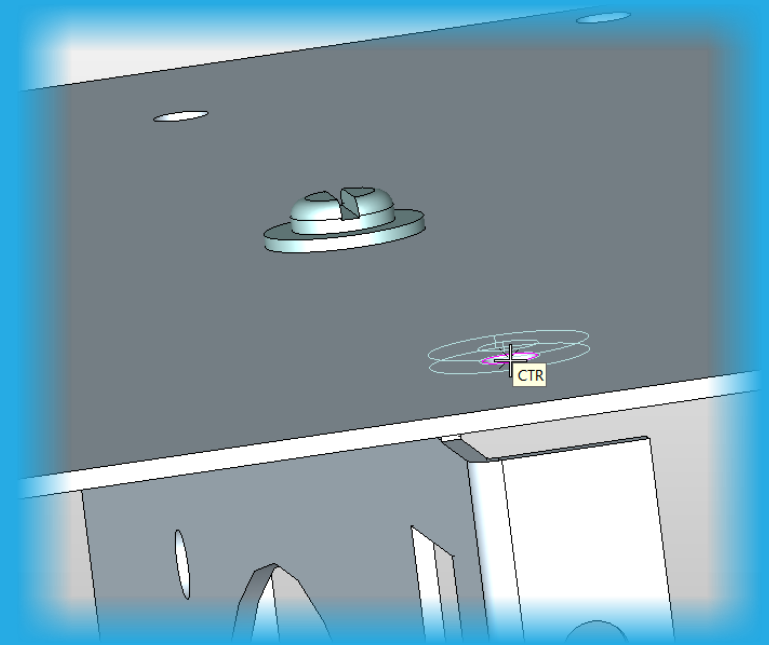
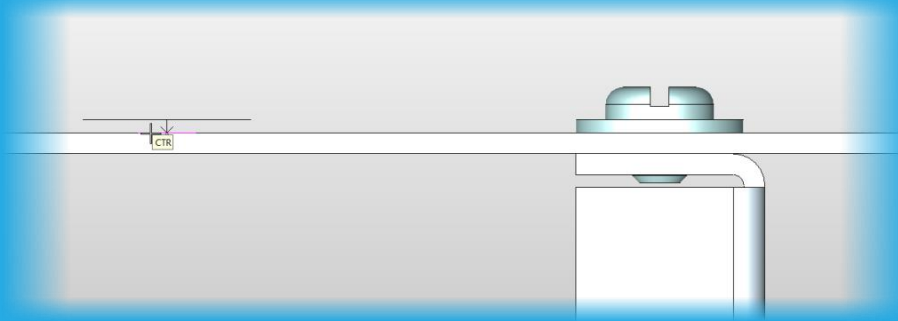
- 軽量パートリファレンスは、軽量設定をオフにすることなく、自動的に書き出しされます
 - 現在 IGES,STEP のみの機能です。



その他の改良

- **ワッシャの基準位置を変更**

- ツール:締結要素:ワッシャをソリッドで使用する場合、配置の基準位置は他の締結要素と同様に、デフォルトでワッシャの底部に変更しました。
- 論理的には、ネジを追加する前に、底部を使用して穴の位置の上に配置します。



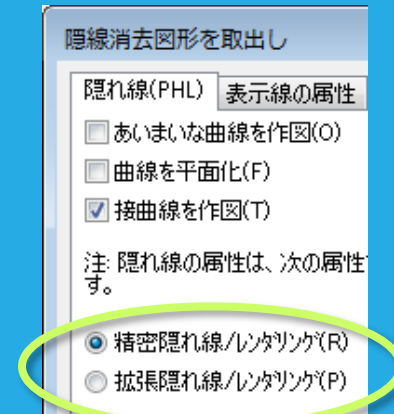
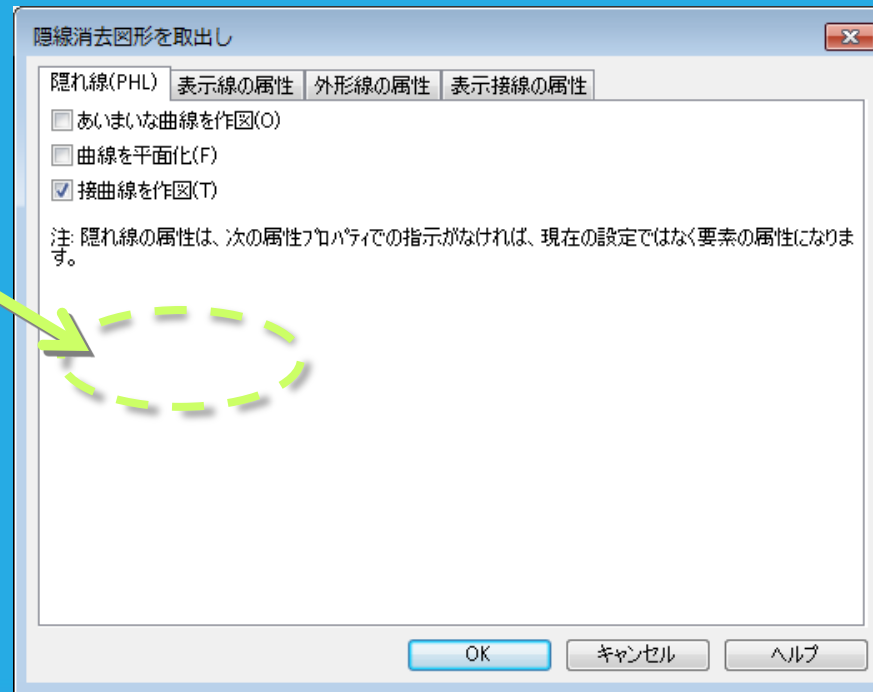
- 汎用切替えキー(デフォルトでは「@」)は、挿入基準位置を切り替えるために引き続き機能します。

その他の改良

● データ抽出：隠線破線 / 消去のレンダリングオプションを簡略化

– ツール：データ抽出：隠線破線と隠線消去のレンダリングオプションを常に「拡張隠れ線/レンダリング」に固定しました。

- オプション選択のラジオボタンをダイアログボックスから削除しています。

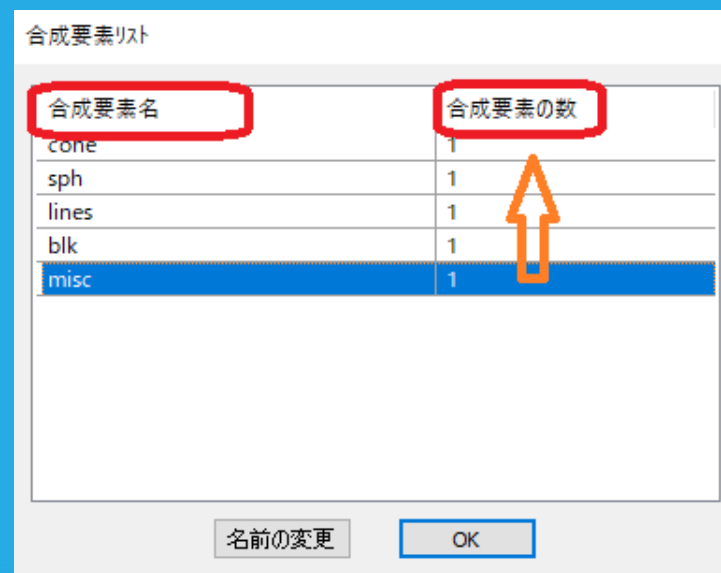
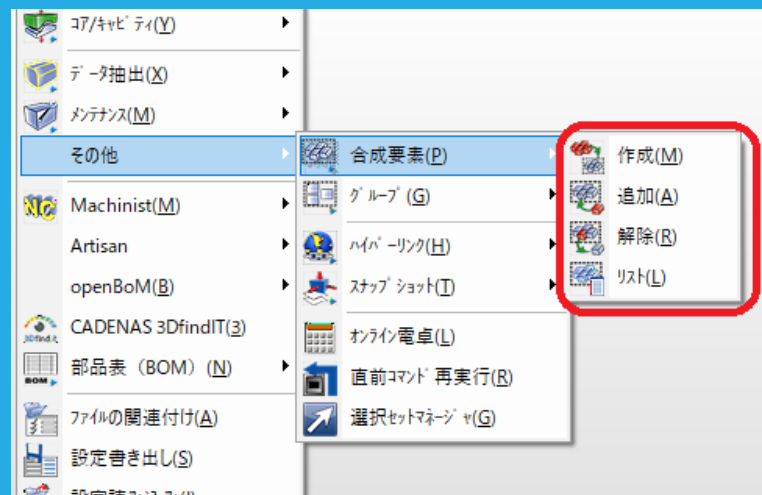


以前のVer

その他の改良

● 合成要素の機能動作を改良

- 合成要素:作成は、一度だけ実行され、自動的には繰り返されません。
- 合成要素:解除は、子要素ではなく親ソリッドを選択します。
- 合成要素:リストに並べ替えの機能を追加
 - 「合成要素名」ヘッダーをクリックしてアルファベット順を切り替えます
 - 「合成要素の数」ヘッダーをクリックして、選択した行をリストの上に移動します



ユーザインターフェースの改良

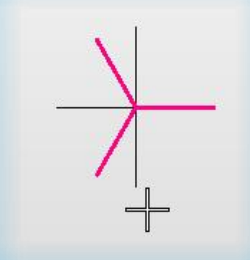
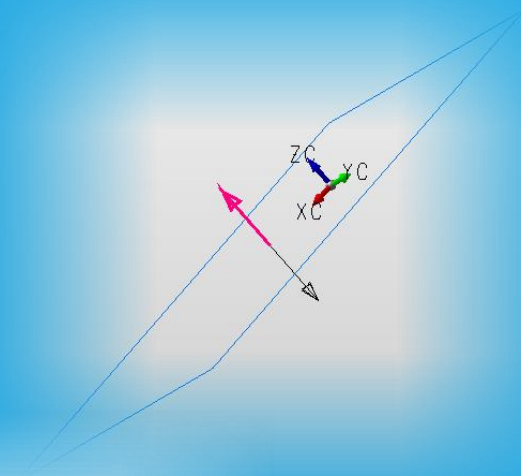
● 平面ビューで奥行き方向の矢印の表示と選択が改善されました

– 押出しの方向選択など、平面ビューで奥行き方向の指示が困難だった矢印の表示と選択が改善されました。

– 矢印の方向

- Y字表示は画面の手前方向へ
- 十字表示は画面の奥方向へ

– スペースキーを使用して選択方向を切り替えます。希望の方向に向け、マウス左ボタンで確定します。



ユーザインターフェースの改良

- 要素数と投影図レイアウト移動のダイアログの列を広げ、見出しを見やすくしました

- 要素確認: 要素数のダイアログボックス

種類別要素数リスト

要素タイプ	活性レベル	すべての...
リット	0	4
ポートフェイス	10	10
合計	10	14

以前のVer

OK

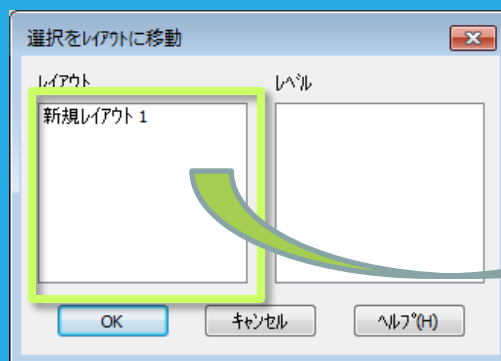
種類別要素数リスト

要素タイプ	活性レベル	すべてのレベル
リット	0	4
ポートフェイス	10	10
合計	10	14

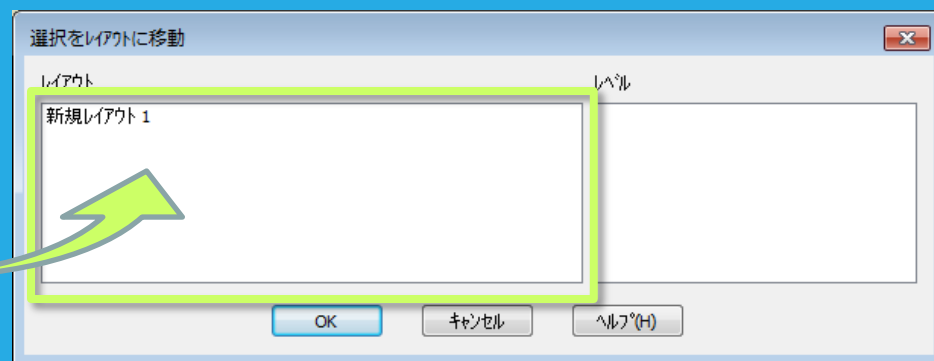
現Ver

OK

- レイアウト: 投影図レイアウト移動のダイアログボックス
 - レイアウトボックスの幅が60文字に増加しました。



以前のVer



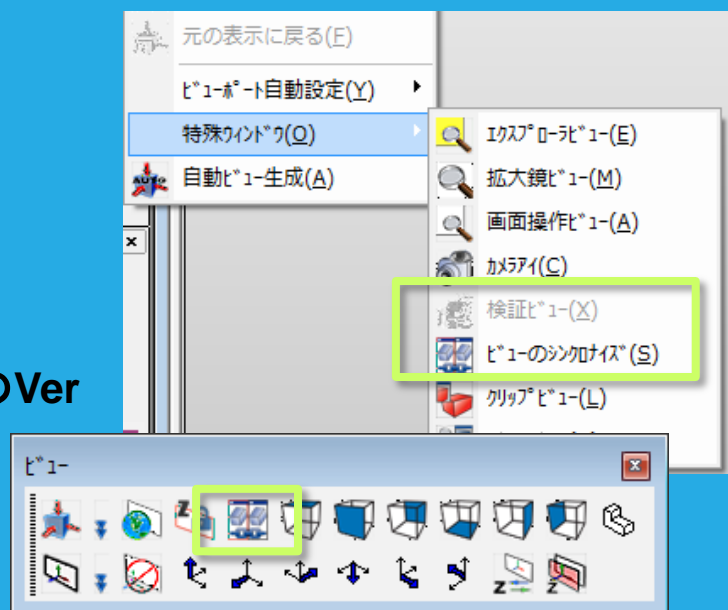
現Ver

ユーザインターフェースの改良

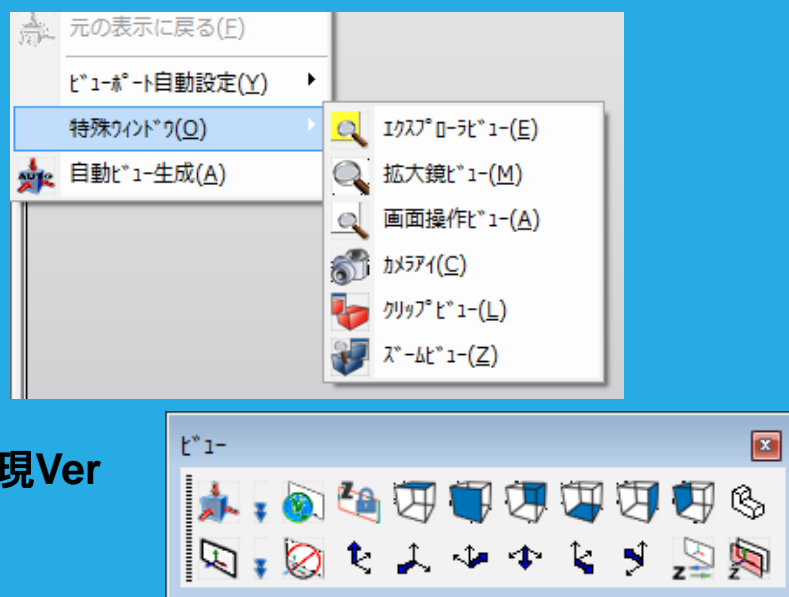
- 特殊ウィンドウにあった検証ビューとビューのシンクロナイズを削除

- 廃止したValidation Toolの関連コマンドだったので
表示:特殊ウィンドウ:検証ビュー と ビューのシンクロナイズ を削除しました。
- ビューツールバーにあったビューのシンクロナイズアイコンも削除されました。

以前のVer



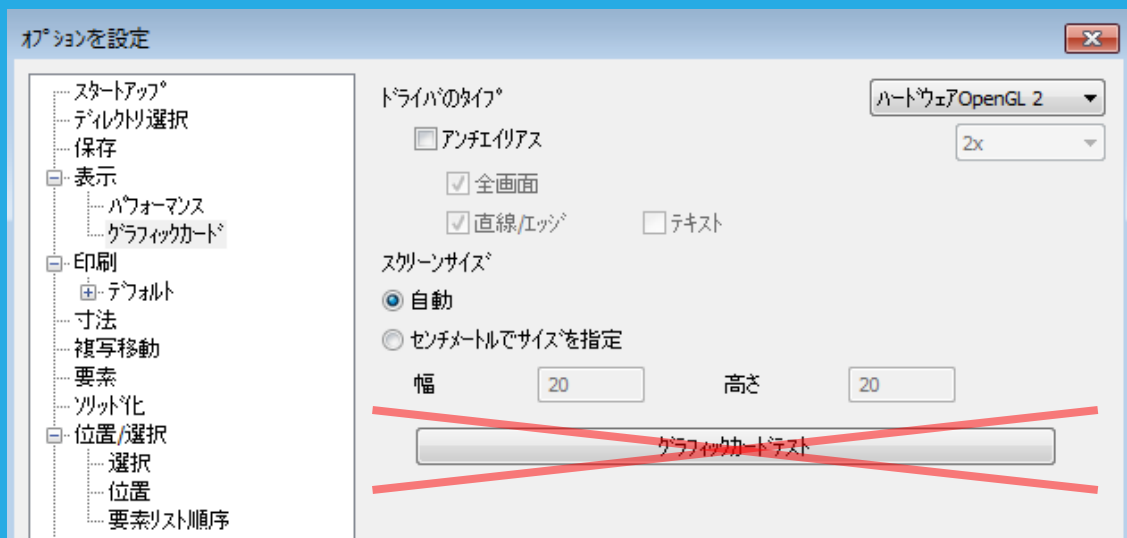
現Ver



ユーザインターフェースの改良

- グラフィックカードテストは削除しました

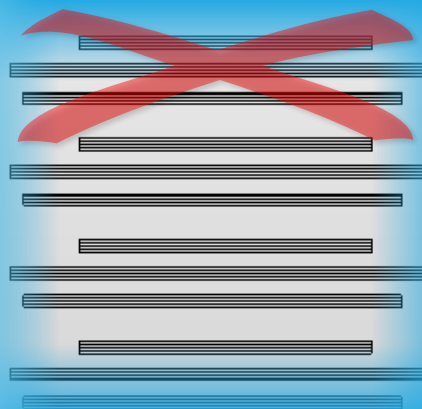
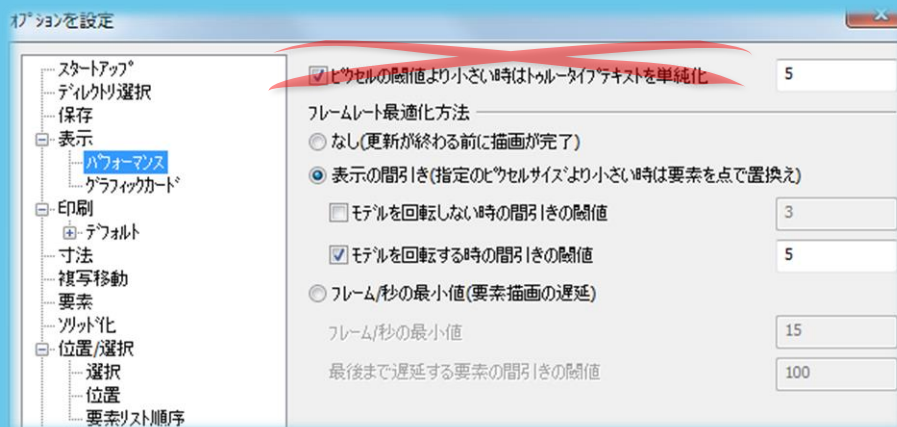
- ツール:オプション:表示:グラフィックカードタブでハードウェア系のドライブを選択した時に利用できたグラフィックカードテスト機能は削除されました。



ユーザインターフェースの改良

- 最新のグラフィックの更新により「ピクセルの閾値より小さいときはトゥルータイプテキストを単純化」オプションは削除されました

- これはシステム設定であり、古いファイルには影響しません。テキストは表示されます。
- 改善されたトゥルータイプ表示のフレームレート性能は、オプションなしで以前のバージョンよりも7倍高速です。

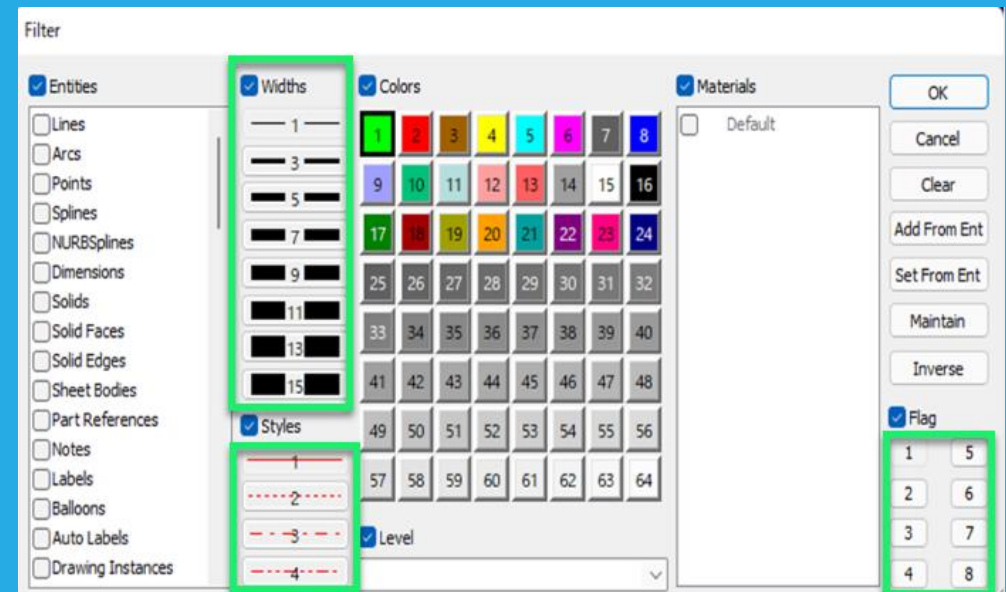


```
1234567890=qwertyu op[jase'gnjk';zxcvbnm.;  
1234567890--CWERTYUOIJPLASDFGHJKLZXCVBNM.../  
1234567890=QWERTYUIOPJASDFGHJKLZXCVBNM.../  
  
1234567890=qwertyu op[jase'gnjk';zxcvbnm.;  
1234567890--CWERTYUOIJPLASDFGHJKLZXCVBNM.../  
1234567890=QWERTYUIOPJASDFGHJKLZXCVBNM.../  
  
1234567890=qwertyu op[jase'gnjk';zxcvbnm.;  
1234567890--CWERTYUOIJPLASDFGHJKLZXCVBNM.../  
1234567890=QWERTYUIOPJASDFGHJKLZXCVBNM.../  
  
1234567890=qwertyu op[jase'gnjk';zxcvbnm.;  
1234567890--CWERTYUOIJPLASDFGHJKLZXCVBNM.../  
1234567890=QWERTYUIOPJASDFGHJKLZXCVBNM.../
```

ユーザインターフェースの改良

• CADPAC-CREATOR 3D Ver.20.0 は Windows 11 に対応

- Windows 11では、プッシュスタイルラジオボタンの表示方法が変更されています。
 - Windows 11では、どのボタンがアクティブであるかがやや判別しにくくなりました。
 - これは 本ソフト固有の問題ではなく、Microsoft SDK を使用する多くのアプリケーションに影響しています。
 - Microsoftサポートサイトでの解決策としては、Windows 10へダウングレードする、またはグラフィックドライバをアップグレードするとしています。



● CADPAC-CREATOR 3D Ver.20.0 データ変換の対応Ver.表1

ファイル形式	データ変換	ファイルタイプ	サポートバージョン	アセンブリファイル
ACIS	読み込み	sat ; sab	1.5 - R2022	NO
	書出し	sat ; sab	1.5 - R2022	NO
DWG/DXF	読み込み	dxf ; dwg	2021までの全バージョン	NO
	書出し	dxf ; dwg	R12 - 2021	NO
IGES Geometry	読み込み	igs	5.3まで	YES
	書出し	igs	5.3	YES
STEP	読み込み & 書出し	stp ; stpZ	AP203, AP214, AP242	YES
Parasolid	読み込み	x_t ; xmt_txt ; x_b ; xmt_bin	10.0 - 34.0	YES
	書出し	x_t ; x_b	12.0 - 34.0	YES
Solidworks	読み込み(Geometry)	sldprt ; sldasm	98 - 2022	YES
	読み込み(Drawing)	slddrw	99 - 2022	N/A
	PMI ^{*1}	sldprt	97 - 2021	—
Autodesk Inventor	読み込み	ipt	Part Files: 6 - 2023	—
		iam	Assembly Files: 11 - 2023	YES
CATIA V4	読み込み(Geometry)	model ; exp ; dlv ; session	4.1.9 - 4.2.4	NO
	書出し(Geometry)	model	4.1.9 - 4.2.4	NO
	読み込み(Drawing)	model	4.1.5 - 4.2.4	N/A
	PMI	model	4.2.5まで	—

***1**

PMIのサポートは現在visual PMIのみに限定されています
 Dim Xpert モジュールで作成されたPMIは現在、バージョン2014以降でサポートされています
 PMIのサポートはSolidWorks eDrawingsでのPMIサポートと同等です

● CADPAC-CREATOR 3D Ver.20.0 データ変換の対応Ver.表2

ファイル形式	データ変換	ファイルタイプ	サポートバージョン	アセンブリファイル
CATIA V5	読み込み(Geometry)	catpart ; catproduct ; cgr	V5 R8- V5 R32 ^{*2}	YES
	書出し(Geometry)	catpart ; catproduct	V5 R15 - V5 R32 ^{*2}	YES
	読み込み(Drawing)	catdrawing	V5 R7 - V5 R32 ^{*2}	N/A
	PMI	catpart	V5 R4 - V5 R31 ^{*2}	—
PTC Creo (Pro/E)	読み込み(Geometry)	prt ; asm	Pro/E 16 - 2001, Wildfire 1 - 5, Creo 1.0 - 9.0	YES
	読み込み(Drawing)	drw	Pro/E 2000i - 2001, Wildfire 1 - 5, Creo 1.0 - 9.0	N/A
	PMI	prt	Wildfire 5まで, Creo 1.0 - 8.0	—
Siemens / NX	読み込み(Geometry)	prt	11 - 18, NX2007 まで	YES
	読み込み(Drawing)	prt	NX2007シリーズ(NX2027 まで)	N/A
	PMI	prt	UG V11から NX1980	—
JT	読み込み(Geometry)	jt	8.x, 9.x, 10, 10.2, 10.3, 10.5	
Solid Edge	読み込み(Geometry)	par ; asm ; psm	V18(2006) - 2022	YES
	読み込み(Drawing)	dft	ST10, 2022	
IFC	読み込み	ifc	2x3, 2x4, 4	YES

*2 CATIA V5の注意

V5 R31は、V5-6R2021 または R2021x として知られています
V5 R32は、V5-6R2022 または R2022x として知られています

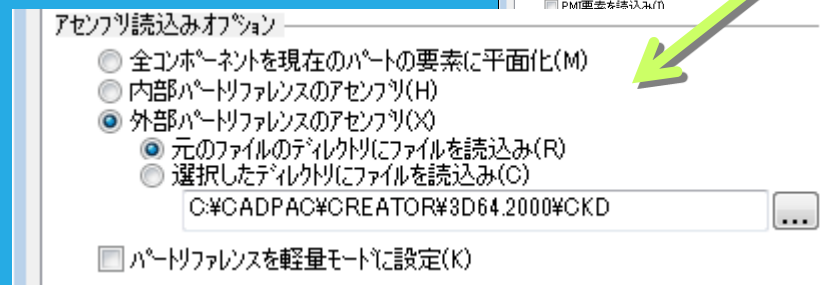
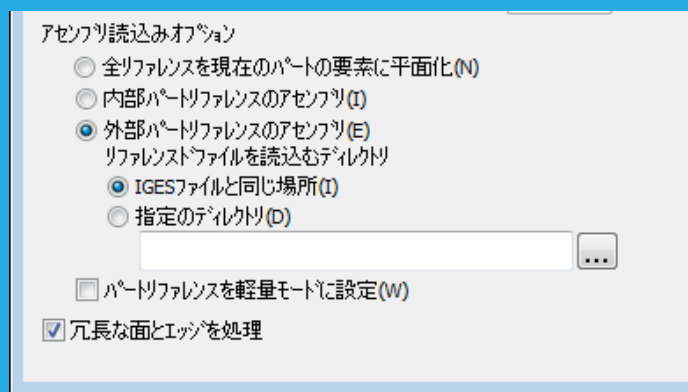
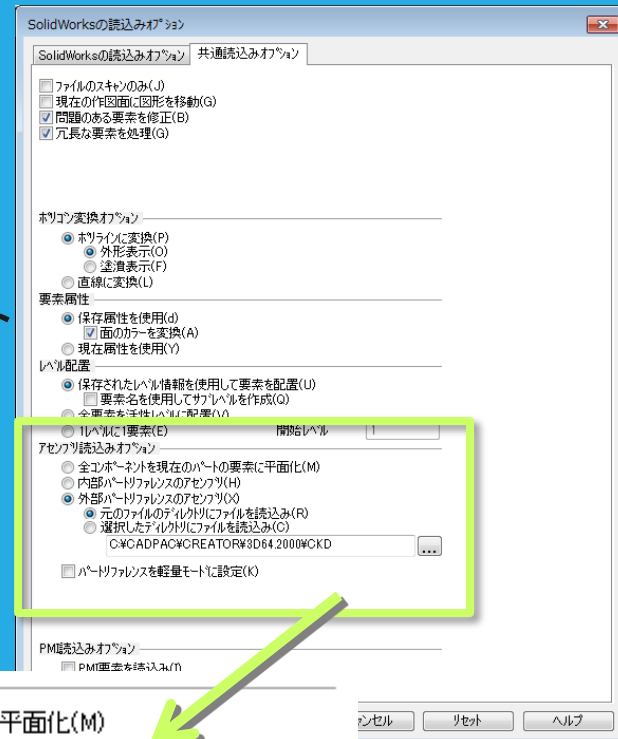
本バージョンより**Windows7**で**CATIA V5**の入出力はできません

<次ページへ続く>

外部変換

外部変換の共通読み込みオプションにあるアセンブリ読み込みオプションのデフォルトを変更

- アセンブリ読み込みオプションのデフォルトを「外部パートリファレンスのアセンブリ」に変更しました。以前のバージョンでは、「全リファレンスを現在のパート要素に平面化」でした。
- 「パートリファレンスを軽量モードに設定」はオフです。



外部変換

- ビューワソフトの KCViewer 2022 では、
CADKEY (.prt, .ptn) ファイルの読み込みサポートを終了しました
 - 本ソフトでは引き続き読み込みできます。

